

令和4年度

大和の教育

大和市教育委員会

大 和 市 民 憲 章

自然と人間との健全な調和のとれた大和市の輝かしい未来を目ざして、わたくしたちは、大和市民としての自覚と誇りをもって、市民ひとりひとりのしあわせを願いながら、ここに市民憲章を定めます。

1. みんなで力をあわせて、
若さと明るさにあふれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
友情としあわせにつつまれたまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
教養と文化の豊かなまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
自然と環境の美しいまちをつくりましょう。
1. みんなで力をあわせて、
きまりと平和を守るまちをつくりましょう。

昭和 54 年 2 月 1 日制定

大和市教育目標

わたくしたち大和市民は、文化の香り高い、活力ある大和市づくりを目指している。そのためには、「人間尊重の精神」を基盤としなければならない。

その基盤の上に、自分をしっかりと持ち、他の人々と連帯できる創造性豊かな人間として自己を磨き伸ばしていくことが求められる。

- 心身ともに健康な人
- 自立心を持つ人
- 学び続ける意欲を持つ人
- 思いやりの心を持つ人
- 自然を大切にする人
- 愛情と信頼に結ばれた家庭づくりをする人
- 近隣の人たちと共に生きる人
- 豊かな文化をはぐくむ人
- 国際社会の一員として行動できる人

平成元年4月1日制定

社会教育の基本目標

社会構造の成熟化により、人々の学習への関心や要求は多様化し、内容も高度・専門化している。また活動の場は、時間的にも空間的にも拡大している。

こうした背景から生まれた生涯学習社会において、社会教育は大変重要な役割を占め、その期待はますます大きくなってきている。

そこで、家庭・学校・地域社会の総合的な協力・連携を図り、学習機会の拡充・学習活動への支援など、社会教育活動の推進を積極的に展開する必要がある。

そのためには「大和市教育目標」を基盤に、

- (1) 健康で明るく、愛情に満ちた家庭を築く
- (2) 豊かな心を持ち、ゆとりある地域づくりに参加する
- (3) 平和を愛し、国際的な視野を身につける
- (4) 自然とふれあい、うるおいある文化を育む
- (5) 楽しく学び、人生に生きがいを持つ

など、主体的に行動できる人間形成をめざすことを目標とする。

平成4年4月14日制定

大和市の宣言

明るくたくましい青少年が育つ都市宣言

大和市のあすをにない、友愛にみちた住みよい社会を築くのは青少年である。

青少年が自己の行動に自覚と責任をもち、心身ともに明るくたくましく成長することは、すべての市民の願いである。

この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校をはじめ地域社会が一体となり、市民の総力をあげて青少年育成の施策を推進することを決意し、ここに大和市を「明るくたくましい青少年が育つ都市」とすることを宣言する。

昭和 57 年 4 月 1 日制定

大和 市 平 和 都 市 宣 言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、地球上では依然として武力紛争が絶え間なく続き、際限のない軍備拡大は核軍備の増強をも招来し、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

大和市は、常にわが国の国是である「持たず、造らず、持ち込ませず」の非核三原則が厳正に遵守されることを願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界に強く訴えるとともに、人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため、ここに平和都市となることを宣言する。

昭和 60 年 9 月 19 日制定

「 環 境 立 市 大 和 」 宣 言

太古より人類は 自然を愛し 自然の恵みに感謝し 自然と共に栄えてきました

大和市は 人と自然が共生し 良好な環境を確保するため 「大和市環境を守り育てる基本条例」を制定し環境問題に積極的に取り組んでいます 都市としての発展による環境問題は 依然として深刻です

環境問題の解決には 私たち一人ひとりが日々の生活の中で 環境について見つめ直し 環境を思いやる心をはぐくみ 広めていくことが重要と考えています

大和の快適な環境づくりを推進していくため 環境について学び 知り 考え そして環境に配慮できる人間の育成と更なる環境保全施策の展開を誓い ここに「環境立市 大和」を宣言します

平成 16 年 4 月 22 日

「健康都市 やまと」宣言

健康は、日々の生活の基本であり、幸福を追求するために、とても大切なものです。

都市で生活するわたしたち市民が、生き生きと暮らすためには、保健、福祉、医療などを通じて「人の健康」を守るとともに、安全で快適な都市環境が整う「まちの健康」、人と人とのあたたかな関係に支えられる「社会の健康」を育てていくことが重要です。

大和市は、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康都市」を目指すことを宣言します。

平成 21 年 2 月 1 日

「認知症 1 万人時代に備えるまち やまと」宣言

超高齢社会を迎え、認知症になる人は急激に増加しており、大和市においても近い将来、その数は、1 万人を超えるものと予測されます。

これからは、誰もが認知症にかかわる可能性があり、あらゆる世代、立場の人が協力しあい、認知症の人への理解を深め、その想いに寄り添っていくことが大切です。

大和市は、認知症の人が住み慣れた地域で、人と人とのつながりを育みながら、自分らしく、安心して暮らし続けられるよう、様々な取り組みを進め、認知症 1 万人時代に備えます。

平成 28 年 9 月 15 日

「70 歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言

「人生 100 年時代」を迎える超高齢社会では、一般に 65 歳以上を高齢者とする固定観念を変えていくことが必要です。

年齢を重ねても、自らの健康を維持し、自立した生活を送れるよう努めている方、豊かな知識と経験を生かし、様々な役割を果たしている方など、一人ひとりが大和のかけがえのない存在です。

支えを必要とする方には手を差し伸べながら、この世代の方々が、個々の意欲や能力に応じて、いつまでも生き生きと活躍していただきたいと考え、「70 歳代を高齢者と言わない」ことを宣言します。

平成 30 年 4 月 11 日

大和市気候非常事態宣言

近年の世界的な気候変動は、記録的な猛暑、大型台風、集中豪雨の頻発など、もはや危機と呼ぶべき域に達しています。

この要因とされる地球温暖化について、我が国をはじめとする世界各国は、2015年のパリ協定以来、温室効果ガス排出量の削減について目標を掲げ取組を進めてきましたが、一刻の猶予も許さぬ地球温暖化の進行の中、より一層の削減強化を表明しているところです。

地球温暖化による危機を乗り越え、生命あふれる地球と大和を未来へとつないでいくため、今この時代に生きる私たち一人ひとりが具体的かつ持続的に行動することが必要です。

本市は、人にも環境にも優しい持続可能なまちづくりを進め、2050年度までの温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を市民、事業者、国及び他自治体などと密接に連携・協力しながら目指すとともに、地球温暖化の中で生じ得る影響から市民を守る施策をより一層推進することを決意し、ここに気候非常事態を宣言します。

令和4年4月1日

目 次

大和市民憲章
大和市教育局・社会教育の基本目標
明るくたくましい青少年が育つ都市宣言
大和市平和都市宣言
「環境立市 大和」宣言
「健康都市 やまと」宣言
「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言
「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言
「大和市気候非常事態」宣言

大和市の概要	9
(1) 沿革	
(2) 地勢・位置	
(3) 人口・世帯	

教育行財政

1. 教育委員会	15
(1) 教育長・委員	
(2) 会議	
(3) 教育委員会表彰	
2. 事務局等	19
(1) 組織図	
(2) 事務分掌	
(3) 所属別・職名別職員一覧表	
3. 大和市の教育振興基本計画	25
4. 令和4年度 教育に係る当初予算	27
5. 教育費	28
(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移	
(2) 教育費目的別決算額の推移	
(3) 教育費性質別決算額の推移	

学校教育

1. 市立学校一覧	34
2. 学校施設の状況	35
3. 保有教室の内訳	36
4. 学校施設の整備状況	37
(1) 校舎等の防音工事	
(2) 耐震補強工事	
(3) 非構造部材の耐震化工事	
(4) 校舎等の増築工事	
5. 教育指導	39
(1) 学校訪問	
(2) 研修	
(3) 研究	
(4) 国際教育	

(5) 学校への助成等	
6. 児童・生徒及び教職員の推移	48
(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数	
(2) 年度別学校職員定数	
(3) 教員の年齢別・男女別一覧	
7. 特別支援学級	51
8. 進路状況	51
9. 日本スポーツ振興センター	52
(1) 掛金等の状況	
(2) 災害発生状況	
10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励	54
11. 学校給食	55
(1) 調理方式別による学校数	
(2) 学校給食の内容	
(3) 単独調理校	
(4) 学校給食共同調理場	
(5) 職員構成	
(6) 学校給食運営組織図	
(7) 食数	
(8) 学校給食優良校	
12. 教育研究所	60
(1) 調査研究事業	
(2) 研修事業	
(3) 教育の情報化に関する事業	
(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業	
(5) 教育資料に関する事業	
13. 青少年相談室	71
(1) 青少年相談員の活動	
(2) 街頭補導の実施状況	
(3) 青少年相談室の活動	
(4) 青少年相談室の相談受理状況（電話相談・来室相談）	
(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置	
(6) 教育支援教室「まほろば教室」	

生涯学習

社会教育委員	79
生涯学習・社会教育等関連施設	81
○ 文化振興課＜文化財保護＞	83
○ スポーツ課	99
1. 体育関係団体の育成	
2. スポーツ活動の活性化	
3. スポーツ行事・教室の開催	
4. スポーツ水準の向上	
5. 体育施設	
○ 図書館	117
1. 図書館サービス	

2.	学習センター図書室との連携	
3.	団体貸出事業の推進	
4.	健康都市図書館	
5.	その他	
○	生涯学習センター -----	129
	令和3年度学習センターの利用状況（年間） -----	131
1.	生涯学習	
2.	図書・学び交流課学び交流係	
3.	生涯学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
4.	つきみ野学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
5.	北部文化・スポーツ・子育てセンター：市民交流拠点ポラリス（指定管理者：やまとみらい）	
6.	桜丘学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
7.	渋谷学習センター（指定管理者：やまとみらい）	
8.	学習センター図書室	
9.	健康都市大学事業	
○	青少年センター -----	183
1.	子ども活動の場づくり	
2.	青少年企画運営イベント	
3.	子どもの体験機会提供	
4.	青少年育成団体活動	
5.	学校・地域・家庭の連携推進	
6.	集計（参考）	
○	その他事業 -----	197
	文化振興課＜文化芸術の振興＞ -----	199
	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団 -----	205
1.	スポーツを通じた心身の健全な育成を目的とする事業の企画及び実施	
2.	文化芸術を振興するための情報発信と活動機会の提供及び協働事業の開催	
3.	地域交流と社会貢献を主たる目的とするスポーツ、文化芸術及び緑化推進に関する活動拠点の管理運営及び整備	

付 録

教育施設一覧 -----	215
教育年表 -----	224
歴代教育委員会教育長・委員 -----	234

大和市の概要

(1) 沿革

◇原始・古代（紀元前～12世紀中頃）

大和市内における最古の人類の足跡は、今から約3万5千年前の旧石器時代（先土器時代）の遺跡で確認されています。市域を流れる引地川、境川に沿った台地上には遺跡が点在し、発掘された石器類は質・量ともに高い評価を得ています。数多くの石器類からは、当時の人々が狩猟中心の生活をしてきたことがうかがわれます。

約1万5千年前、縄文時代になると、気候が温暖化し、動植物なども豊かになり、土器を使い始めた人々は生活が安定し、堅穴式住居に住むようになりました。市内には縄文時代草創期の遺跡があり、日本最古期の土器片や草創期の土器などが出土しています。

古代の市域は大半が相模国高座郡深見郷に含まれていました。平安時代の中頃に編さんされた「延喜式」の神名帳には、相模国の延喜式内社十三座の一つに深見神社が数えられています。また、10世紀頃の堅穴式住居跡からは、当時の有力者との関連を思わせる石帯や硯などが出土しています。

◇中世（12世紀中頃～16世紀中頃）

鎌倉に幕府が開かれた頃、市の南部域は渋谷重国の治める渋谷庄に含まれていたと考えられます。室町時代には市域の鶴間郷が足利直義の領地となり、正平7年（1352年）には南宗継が足利尊氏から市域の和田郷、深見郷の地頭職を与えられました。その後、戦国時代には小田原北条氏が相模国を支配し、市域はその家臣たちによって治められていました。その頃、保田筑後守など9人（福田開拓九人衆）が今の福田地域に土着して開墾しています。

古道として知られている滝山街道は、小田原城の重要な支城である玉縄城（鎌倉市）と滝山城（八王子市）を結び、境川沿いにある下鶴間、深見、上和田の城郭址にも近く、小田原北条氏の領国支配上重要な道の一つとされています。

◇近世（16世紀中頃～19世紀中頃）

天正18年（1590年）、徳川家康が関東に入国。この頃、市域の村は下鶴間村、深見村、上和田村、下和田村、福田村の5か村で、後に深見村から草柳村が分村し、さらに上・下草柳村に分かれました。

各村ごとに検地が行われ、領主に納める年貢の基準となる石高（米穀の生産高）が決められました。また、宗門人別帳の作成などにより、戸数・人口などが調べられ、近世農村としての基礎が固められました。江戸時代後期・文政年間の市域の戸数は646戸と記されています。

大山参りの道として利用された矢倉沢往還の宿駅の一つである下鶴間宿には旅籠や茶店などがあり、天保2年（1831年）9月、渡辺崋山がこの宿に1泊し、付近のようすを「游相日記」に書き留めています。また、当時の商家の一軒が下鶴間ふるさと館として現地に復原、保存されています。

◇近代・現代（19世紀中頃以降）

明治時代以降、神奈川県内の町村は目まぐるしく転換します。市域は明治4年（1871年）、廃藩置県後に神奈川県に所属しました。明治6年（1873年）に行政区画として区・番組制が施行されて以来、2度の地方制度の変遷を経て、明治22年（1889年）に現在の行政区画の基礎となる町村制が施行され、

下鶴間村、深見村、上草柳村、下草柳村が合併して鶴見村に、上和田村、下和田村、福田村は、長後村、高倉村と合併して渋谷村になりました。

その後、鶴見村では分村問題が発生し、それを收拾するため明治24年（1891年）9月、「大いなる和」の願いをこめて村名を大和村と改称。ここに「大和」の名称が誕生しました。

大正15年（1926年）5月に神中鉄道（現在の相模鉄道本線）、昭和4年（1929年）4月には小田原急行鉄道江ノ島線（現在の小田急江ノ島線）が開通したことにより、市域は農村から都市へと姿を変えていきます。昭和17年（1942年）、現在の厚木基地に海軍航空隊が、翌昭和18年（1943年）には高座海軍工廠の関連施設が設置され軍都の色彩を濃くしていく中で、同年11月3日に大和村が、翌19年（1944年）11月3日には渋谷村がそれぞれ町制を施行しました。

昭和20年（1945年）、終戦を迎え、連合軍最高司令官マッカーサー元帥が厚木飛行場に到着。後に同飛行場は米国海軍厚木航空基地となり、基地機能の強化などにより町の様相が大きく変わりました。

昭和30年（1955年）4月、渋谷町の長後、高倉が藤沢市に編入し、福田、上和田、下和田が渋谷村となり、翌31年（1956年）9月、大和町に渋谷村が合併、昭和34年（1959年）2月1日に県内14番目の市として市制を施行しました。

昭和40年代から市内各所で土地区画整理事業が実施され、昭和45年（1970年）5月には人口が10万人に達しました。昭和51年（1976年）に東急田園都市線がつきみ野駅まで開通し、昭和59年（1984年）には同線が中央林間駅と接続しました。

平成元年（1989年）2月1日には市制施行30周年を迎え、県内の中堅都市として発展を続け、平成12年（2000年）11月1日には、全国初の特例市（現在は施行時特例市）へ移行しました。

市制施行50周年を迎えた平成21年（2009年）2月1日には、「健康都市 やまと」宣言を行い、現在、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた街づくりを進めています。

平成26年（2014年）4月には、「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行い、平成30年（2018年）4月には、「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言を行い、高齢者の生涯現役意識を高め、いつまでも生き生きと活躍していただくことを願い、高齢者に対する認識を示しました。

(2) 地勢・位置

大和市は神奈川県のおおのち中央部に位置し、都心から40キロメートル圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。

鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、市域に8駅があります。また道路網も国道246号線や国道467号線のほか、県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジや海老名ジャンクションにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。

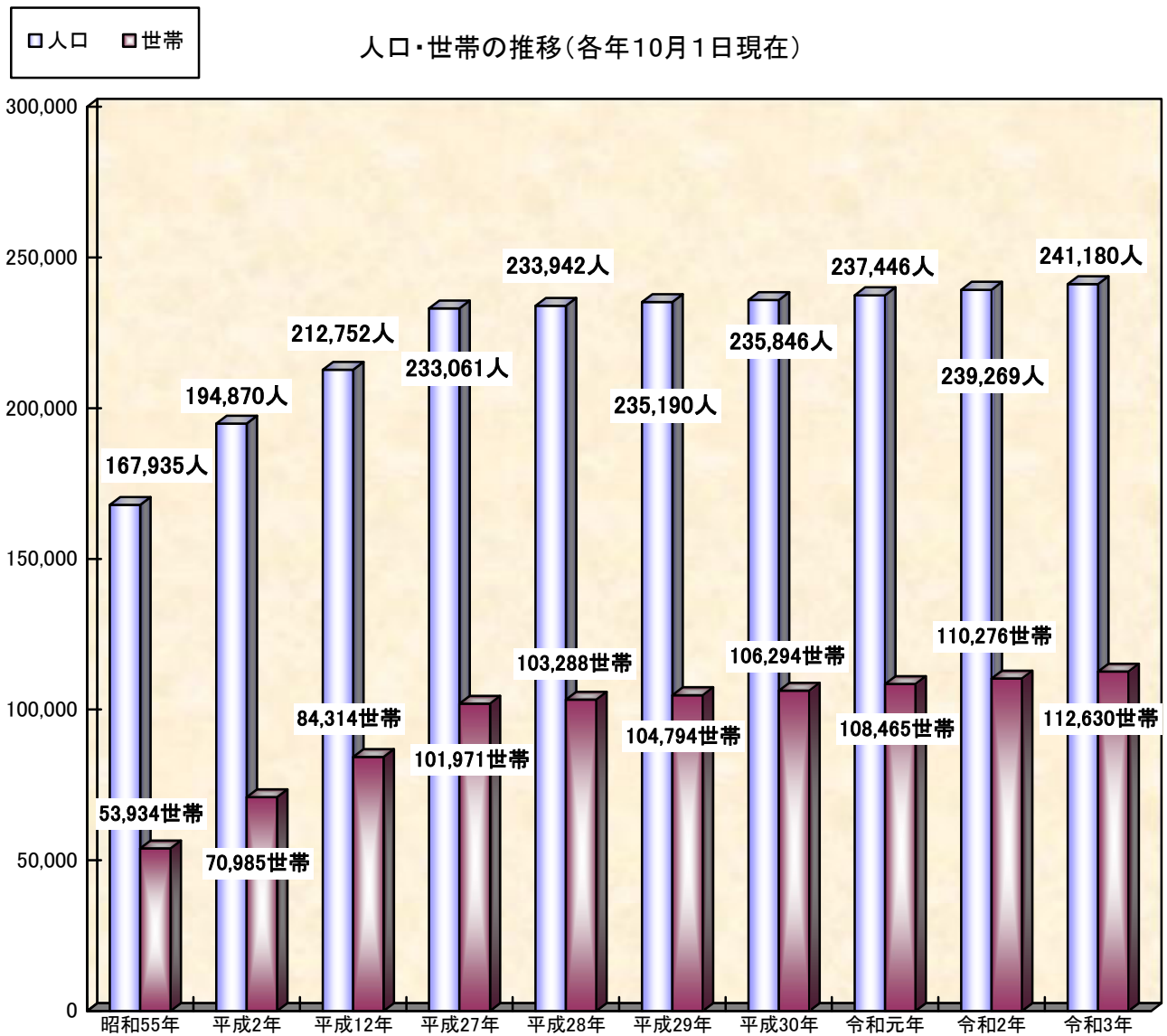
東端	東経	139° 28' 50"	南端	北緯	35° 25' 23"
西端	東経	139° 25' 45"	北端	北緯	35° 31' 14"

海拔	市役所位置	66.8m	面積	27.09km ²
	最高	91.149m	東西	3.22km
	最低	28.328m	南北	9.79km

(3) 人口・世帯

令和4年5月1日現在

○人口 241,678人 ○世帯 113,434世帯
○人口密度 8,921人/km²



教育行財政



鶴間中学校 大規模改修工事



中央林間小学校 増築工事

教育委員会

(1) 教育長・委員



教 育 長
柿 本 隆 夫



教育長職務代理者
青 蔭 文 雄



委 員
森 園 廣 子



委 員
前 田 良 行



委 員
及 川 紀 子

教 育 長 ・ 委 員 名 簿

令和 4 年 5 月 1 日現在

職 名	氏 名	発 令 年 月 日	満了年月日	備 考
教 育 長	柿 本 隆 夫	H27. 10. 01 (当初) (委員当初 H26. 10. 01)	R06. 09. 30	※新教育長 3 期目 (教育 4 期目)
教育長 職務代理者	青 蔭 文 雄	H20. 12. 09 (当初)	R06. 12. 08	委員 4 期目
委 員	森 園 廣 子	H29. 10. 01 (当初)	R07. 09. 30	委員 2 期目
委 員	前 田 良 行	H30. 12. 21	R04. 12. 20	委員 1 期目
委 員	及 川 紀 子	R02. 12. 09	R06. 12. 08	委員 1 期目

※教育長は、旧制度に基づく委員としての任期満了に伴い、平成 27 年 10 月 1 日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 76 号）に基づく新たな教育長として任命されました。

現教育長及び委員の任命は次のとおりです。

柿本 隆夫 平成26年10月1日～平成27年9月30日
 平成27年10月1日～現在
 (旧制度による教育長 平成26年10月1日～平成27年9月30日
 新制度による教育長 平成27年10月1日～平成30年9月30日
 平成30年10月1日～令和3年9月30日
 令和3年10月1日～現在)

青蔭 文雄 平成20年12月9日～平成24年12月8日
 平成24年12月9日～平成28年12月8日
 平成28年12月9日～令和2年12月8日
 令和2年12月9日～現在
 (委員長 平成22年10月1日～平成24年9月30日
 平成26年1月1日～平成27年9月30日)

森園 廣子 平成29年10月1日～令和3年9月30日
 令和3年10月1日～現在

前田 良行 平成30年12月21日～現在

及川 紀子 令和2年12月9日～現在

(2) 会議

会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会・協議会を開催します。

○教育委員会会議等の開催状況

年度 会議の別	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
定例会	12	12	12	12	12
臨時会	1	1	1	2	1
協議会	12	16	14	13	13

年度 議決事項	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
条例・規則	11	29	17	3	5
陳情・請願等	1	0	0	0	0
人事	7	5	7	6	5
予算・決算	4	5	4	6	4
報告	3	5	2	5	4
その他	27	28	26	20	16
合計	57	72	56	40	34

※ 教育委員会定例会の議案及び会議録は、市のホームページでご覧いただけます。

(3) 教育委員会表彰

昭和44年に制定された教育委員会表彰規程に基づき、本市の教育文化の向上のために尽力された個人及び団体の功績を称えるため、原則として毎年2月の最終日曜日に表彰しています。

令和3年度は表彰式を開催できませんでしたが、表彰を受けた教育功労者は、次のとおりです。
(順不同、敬称略)

教育委員会表彰教育功労者

【功労表彰 (26名)】

令和4年2月28日

氏名	事績
本多 正光	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
石川 正也	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
上田 康久	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
三平 将彦	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
信清 重典	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
柳澤 英明	本市立学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
木村 はるみ	本市立学校の学校薬剤師として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
尾鳥 八千代	本市立学校の学校薬剤師として児童生徒の健康の保持増進に寄与されました
吉田 淑子	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
中村 良枝	本市青少年相談員として青少年の健全育成に寄与されました
相澤 由紀子	本市子ども会連絡協議会の役員として青少年の健全育成に寄与されました
松本 真季	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
石川 美穂子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
井原 洋子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
久保田 起代子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
長谷川 礼子	本市母親クラブ連絡協議会の役員等として青少年の健全育成に寄与されました
小泉 美恵子	本市青少年指導員として青少年の健全育成に寄与されました

伏見 暢子	本市子ども読書活動推進委員として社会教育の振興発展に寄与されました
中丸 正司	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
森貞 みさ	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
朝日 恵美子	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
村元 進	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
村井 三留	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
堀ノ内 秀志	本市体育協会の種目別協会役員として社会体育の振興発展に寄与されました
齋藤 正和	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました
高城 知子	本市社会体育振興委員等として社会体育の振興発展に寄与されました

【功績表彰（10名）】

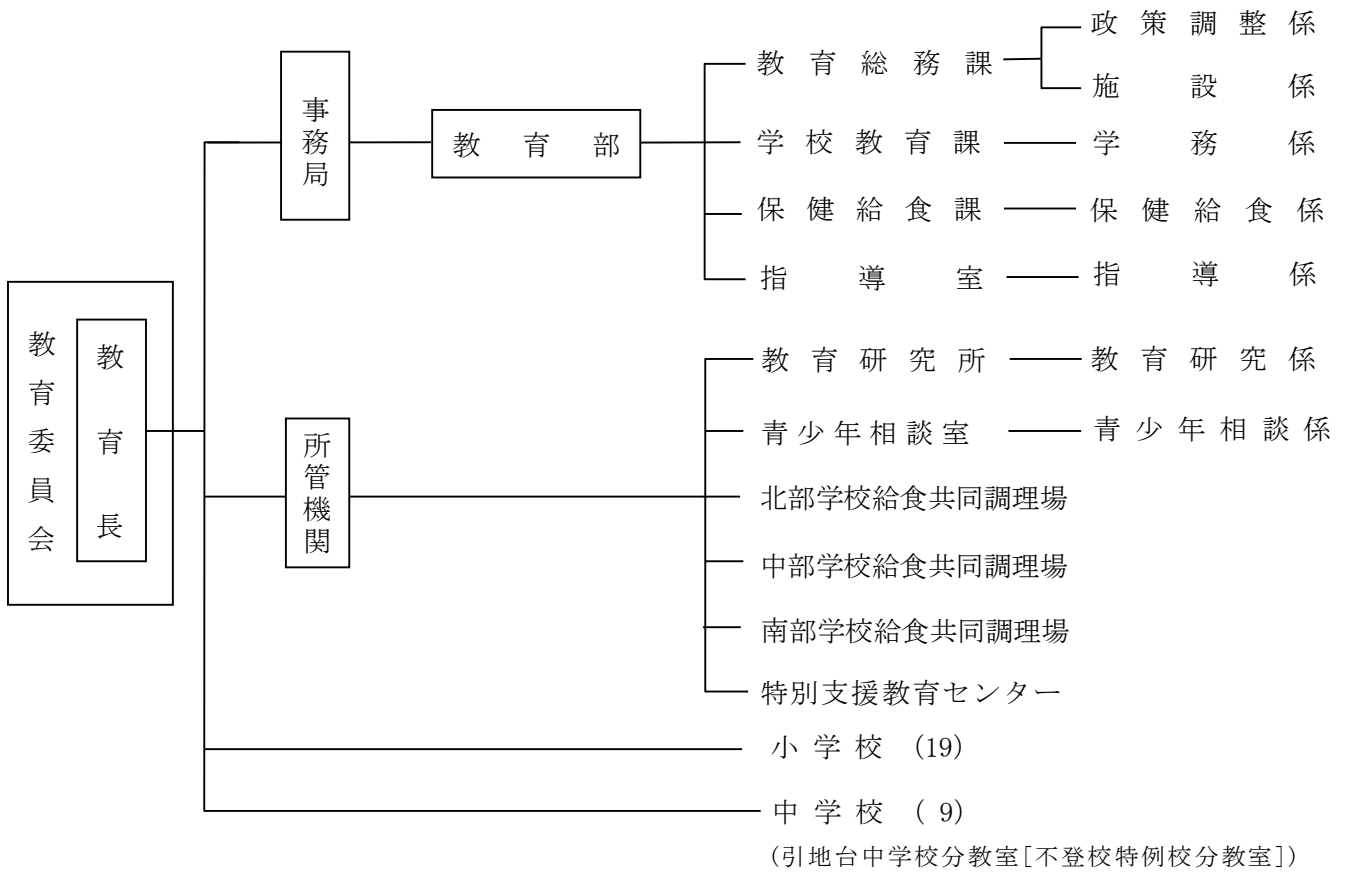
令和4年2月28日

氏 名	事 績
北島 拓馬	第45回関東中学校水泳競技大会 男子100m自由形（優勝）
小島 乃彩	第45回関東中学校水泳競技大会 女子50m自由形（第3位）
西堀 比奈子	第41回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール ピアノ部門 中学1年生の部（第1位）
中村 和輝	第37回かながわ音楽コンクール ユースピアノ中学生の部（最優秀賞）
岩淵 浩	第28回関東オープンソフトテニス大会 シニア男子55（第3位）
大野 太郎	第72回関東ソフトテニス選手権大会 シニア男子75（準優勝）・ 第76回東日本ソフトテニス選手権大会 シニア男子75（第3位）
鍛代 優亮	第72回関東高等学校ソフトテニス選手権大会 男子個人の部（第3位）
小俣 陽	第16回全国防具空手道選手権大会 小学4年生男女混合形の部（優勝）
櫛笥 あずさ	第16回全国防具空手道選手権大会 小学5・6年生女子組手の部（優勝）
塩原 禅大	第16回全国防具空手道選手権大会 小学4年生男子組手の部（準優勝）

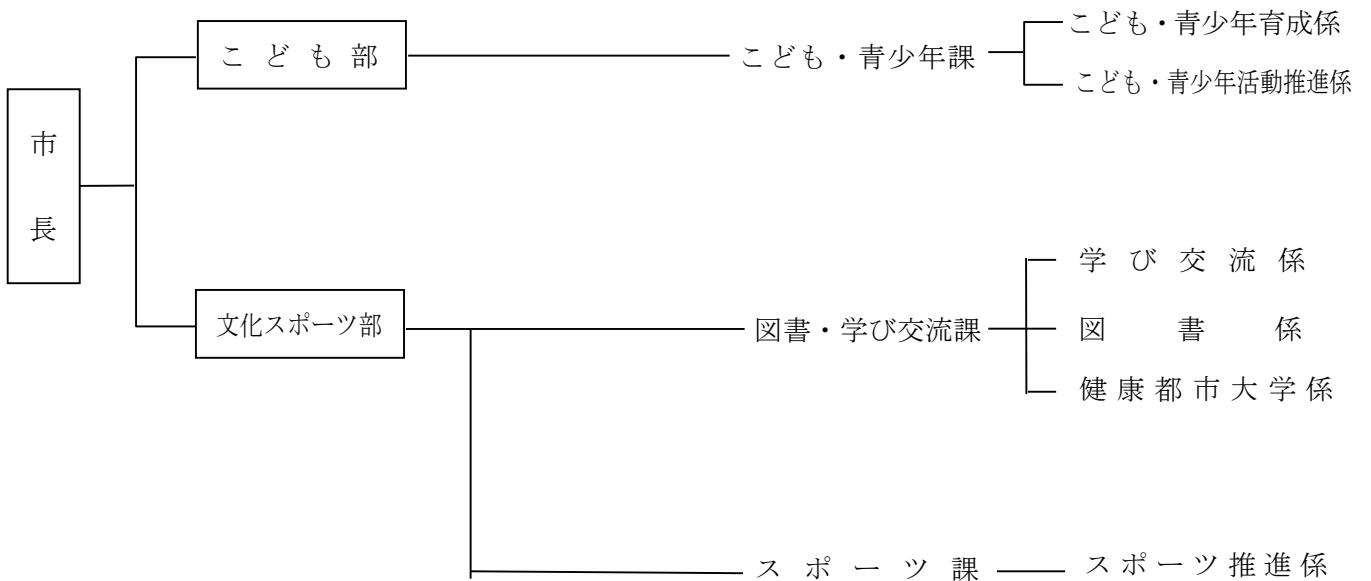
2. 事務局等

(1) 組織図

(令和4年4月1日現在)



(以下、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行する部局を参考として掲載)



教育部

教育総務課

- ① 教育委員会の会議に関する事。
- ② 教育委員会の秘書及び交際に関する事。
- ③ 教育委員会の儀式及び表彰に関する事。
- ④ 教育行政の総合的企画及び調整に関する事。
- ⑤ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事。
- ⑥ 事務局、学校及び所管機関の職員（県費負担教職員（以下「教職員」という。）を除く。）の人事及び給与に関する事。
- ⑦ 非常勤特別職職員の委嘱及び解嘱に関する事。
- ⑧ 公印の管理に関する事。
- ⑨ 法制に関する事。
- ⑩ 例規に関する事。
- ⑪ 行政文書の公開に関する事。
- ⑫ 個人情報保護に関する事。
- ⑬ 教育に関する統計調査（他課に属するものを除く。）及び広報に関する事。
- ⑭ 児童生徒の推計に関する事。
- ⑮ 教育部内の文書の発収及び保存に関する事。
- ⑯ 教育関係予算の総括に関する事。
- ⑰ 教育部内の庶務に関する事。
- ⑱ 教育部内の事務事業の調整及び会議に関する事。
- ⑲ 教育部内の施策の総合調整に関する事。
- ⑳ 教育行政に関する相談に関する事。
- ㉑ 学校施設の整備に係る調査及び企画に関する事。
- ㉒ 学校施設の整備及び維持管理に関する事。
- ㉓ 学校施設の営繕に関する事。
- ㉔ 学校施設の工事の監督（他に委託するものを除く。）に関する事。
- ㉕ 学校施設台帳の整備に関する事。
- ㉖ 学校管理物品の整備に関する事。
- ㉗ 学校施設の使用申請等に関する事。
- ㉘ 大和市土地開発公社との連絡に関する事。
- ㉙ 教育部の所掌に係る国及び県の補助金、委託金及び負担金の申請、調査、請求及び報告に関する事。
- ㉚ 教育部の所掌に係る徴収金の調定及び徴収に関する事。
- ㉛ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る契約を結ぶ事。
- ㉜ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る物品の売却その他の処分に関する事。
- ㉝ 教育機関（教育部が所掌するものに限る。）に係る寄附金等の受入れに関する事。
- ㉞ 教育部の所掌に係る議案（予算を除く。）の作成及び議案につき、市議会において説明する事。
- ㉟ ㉙～㉛に掲げるもののほか、教育部の所掌に係る予算についての支出負担行為、支出命令その他予算執行に関する事。

学校教育課

- ① 教職員の任免、服務その他人事に関する事。
- ② 教職員の人事評価に関する事。
- ③ 教職員の福利厚生に関する事。
- ④ 学校の組織及び学級編制に関する事。
- ⑤ 学齢簿の編制、整備並びに保管に関する事。
- ⑥ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関する事。
- ⑦ 就学の猶予及び免除に関する事。
- ⑧ 通学区域の設定及び変更に関する事。
- ⑨ 就学援助に関する事。
- ⑩ 奨学金に関する事。
- ⑪ 生徒運賃割引証に関する事。
- ⑫ 学校基本調査及び進路状況調査に関する事。

保健給食課

- ① 学校保健に係る調査及び企画に関する事。
- ② 児童生徒及び教職員等の保健衛生に関する事。
- ③ 就学時健康診断に関する事。
- ④ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。
- ⑤ 医療費援助及びめがね購入費補助に関する事。
- ⑥ 学校給食施設の整備計画に関する事。
- ⑦ 学校給食の管理指導に関する事。
- ⑧ 給食用物資の購入計画に関する事。
- ⑨ 学校給食共同調理場の運営管理に関する事。
- ⑩ 栄養指導センターに関する事。
- ⑪ 学校給食共同調理場運営協議会に関する事。

指導室

- ① 教科、道徳、特別活動等の指導助言に関する事。
- ② 教科用図書その他の教材等の取扱い、研究及び指導に関する事。
- ③ 教科用図書の採択に関する事。
- ④ 教職員の研修に関する事。
- ⑤ 児童生徒の事故に関する事。
- ⑥ 特別支援学級入級に関する事。
- ⑦ 学校行事予定に関する事。
- ⑧ 校外行事及び振替授業に関する事。
- ⑨ 学校教育振興に係る調査研究に関する事。
- ⑩ 教材教具及び学校図書館図書整備に関する事。
- ⑪ 教育相談指導に関する事。
- ⑫ 児童・生徒指導に関する事。
- ⑬ 教育研究所との連絡調整に関する事。

所管機関

教育研究所

- ① 研究所の管理運営に関すること。
- ② 教育の研究調査に関すること。
- ③ 教育図書及び教育資料に関すること。
- ④ 研究調査成果の発表及び出版に関すること。
- ⑤ 教育関係職員等の研修に関すること。
- ⑥ 教育活動の支援に関すること。
- ⑦ 教育史料の収集と刊行に関すること。
- ⑧ 教育の情報化の推進に関すること。
- ⑨ 理科学習及び総合的な学習の推進に関すること。
- ⑩ その他教育研究所の庶務に関すること。

青少年相談室

- ① 青少年相談に関すること。
- ② 教育相談に関すること。
- ③ 不登校児童生徒の支援に関すること。
- ④ 教育支援教室に関すること。
- ⑤ 街頭補導及び継続補導に関すること。
- ⑥ 社会環境浄化活動に関すること。
- ⑦ 相談及び補導に関する統計並びに諸報告に関すること。
- ⑧ 相談室の管理運営に関すること。
- ⑨ その他相談室内の庶務に関すること。

学校給食共同調理場

- ① 給食の調理及び配送に関すること。
- ② 給食用物質の発注及び検収に関すること。
- ③ 食器、食かん等の洗浄、消毒及び保管に関すること。
- ④ 献立の作成、調理指導及び栄養の調査研究に関すること。
- ⑤ 衛生管理に関すること。
- ⑥ 学校給食共同調理場内（栄養指導センターを含む。）の維持管理に関すること。
- ⑦ その他学校給食共同調理場内の庶務に関すること。

特別支援教育センター

- ① 通級指導教室に関すること。
- ② 教育支援教室に関すること。
- ③ 教育相談及び教育指導に関すること。
- ④ 教職員の研修に関すること。
- ⑤ 特別支援教育センター内の維持管理に関すること。
- ⑥ その他特別支援教育センター内の庶務に関すること。

(以下は、大和市教育委員会の権限に属する事務を補助執行させるもの)

こども部

こども・青少年課

- ① 青少年教育に係る調査及び企画に関する事。
- ② 青少年教育施設の整備計画に関する事。
- ③ 青少年関係団体の指導及び育成に関する事。
- ④ 青少年指導者の育成に関する事。
- ⑤ 青少年を対象とする集会、講座、研修等の開催、指導助言及び育成に関する事。

文化スポーツ部

図書・学び交流課

- ① 社会教育の総合的な企画調整に関する事。
- ② 社会教育に係る調査及び企画に関する事。
- ③ 社会教育施設の整備計画に関する事。
- ④ 社会教育指導者の育成に関する事。
- ⑤ 社会教育に係る講座、討論会、講習会、講演会、展示会その他の集会に関する事。
- ⑥ 社会教育に対する支援に関する事。
- ⑦ 社会同和教育に係る啓発に関する事。
- ⑧ ユネスコ活動に関する事。
- ⑨ 社会教育委員に関する事。
- ⑩ 学習機会提供の総合管理に関する事。
- ⑪ 学校施設の使用による生涯学習の振興に関する事。
- ⑫ 生涯学習センター関係機関との連絡調整に関する事。
- ⑬ 地域を対象とする講座、展示会その他各種集会に関する事。
- ⑭ 読書活動の総合的な企画調整に関する事。

スポーツ課

- ① 学校体育施設のスポーツ開放に関する事。

(3) 所属別・職名別職員一覧表

令和4年4月1日現在

職名別 所属別	実数の内訳								左のうち管理職						
	事務職員	指導主事	技術職員	技能職員	用務員	調理員	再任用職員	合計実人数	部長	課長	室長	所長	場長	主幹	主任指導主事
教育部	29	10	5	3			4	51	1	3	1				1
教育総務課	12		3	3			1	19		1					
学校教育課	4	2						6		1					
保健給食課	7		2				1	10		1					
指導室	5	8					2	15			1				1
所管機関	9	9	4					22			1	1	3		3
教育研究所	3	4						7				1			1
青少年相談室	2	2						4			1				1
北部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
中部学校給食共同調理場	1		2					3					1		
南部学校給食共同調理場	1		1					2					1		
特別支援教育センター	1	3						4							1
小学校					6	7	13	26							
中学校					1		6	7							
合計	38	19	9	3	7	7	23	106	1	3	2	1	3		4

3. 大和市の教育振興基本計画

教育委員会では、令和元年度～5年度を計画期間とした、「大和市学校教育基本計画」と「大和市生涯学習推進計画」を策定しました。

これら2つの計画は、「健康都市やまと総合計画」の個別計画として位置づけ、他の計画と整合を図りながら、施策を推進します。

また、併せて教育基本法で規定された地方公共団体が策定すべき「教育振興基本計画」の両輪としても位置づけています。

(1) 大和市学校教育基本計画



4. 令和4年度 教育に係る当初予算

(単位：千円)

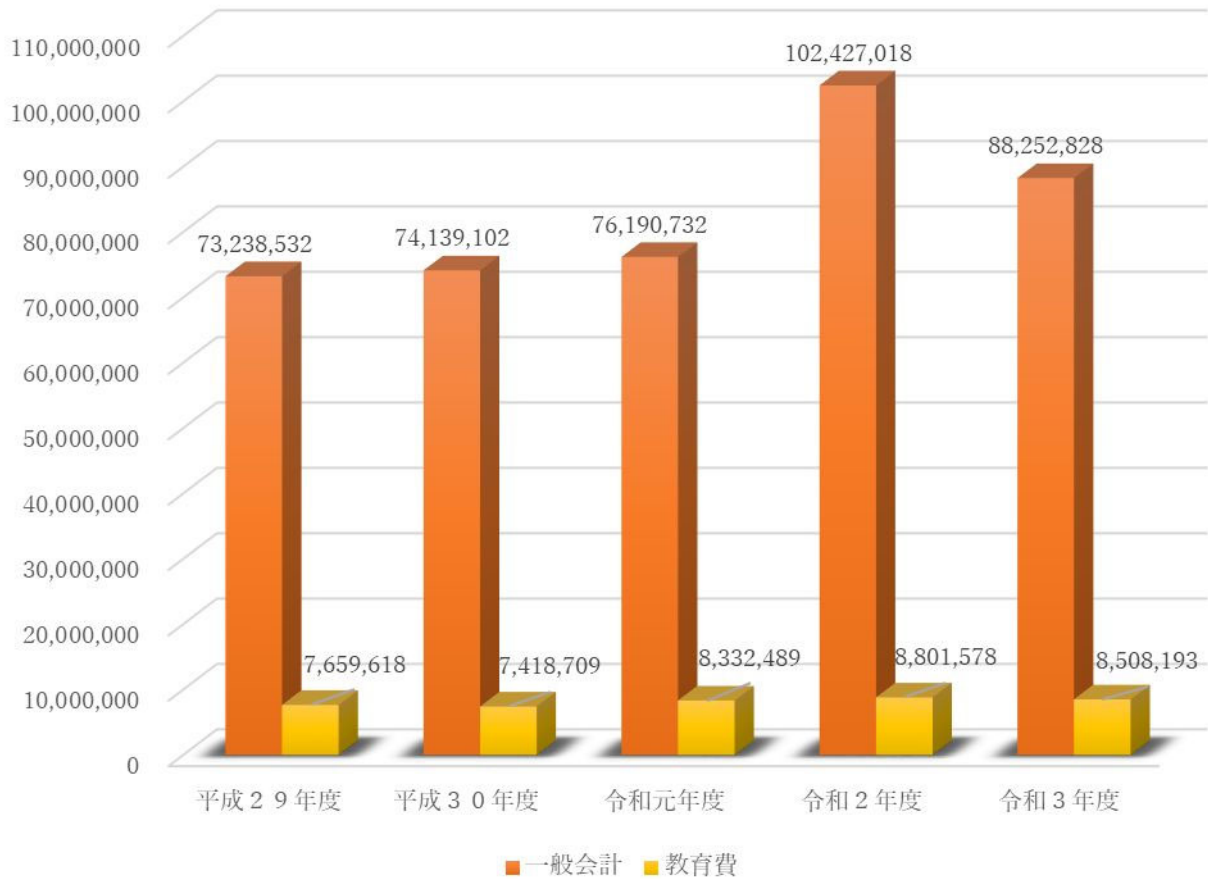
	令和4年度	令和3年度	比較
一 般 会 計	84,800,000	83,120,000	1,680,000
10 教 育 費	8,653,187	8,778,836	△ 125,649
1 教 育 総 務 費	1,690,796	1,756,008	△ 65,212
2 小 学 校 費	1,666,895	1,762,883	△ 95,988
3 中 学 校 費	2,141,140	2,235,516	△ 94,376
4 社 会 教 育 費	1,634,147	1,488,020	146,127
1 社 会 教 育 総 務 費	249,927	254,955	△ 5,028
2 青 少 年 育 成 費	36,539	34,494	2,045
3 公 民 館 費	715,007	549,826	165,181
4 図 書 館 費	595,063	591,280	3,783
5 文 化 財 保 護 費	37,611	57,465	△ 19,854
5 保 健 体 育 費	1,520,209	1,536,409	△ 16,200
1 保 健 体 育 総 務 費	382,214	363,479	18,735
2 学 校 給 食 管 理 費	1,137,995	1,155,407	△ 17,412

※令和3年度は、体育施設費（17,523千円）が保健体育費に含まれています。

5. 教育費

(1) 一般会計決算額と教育費決算額の推移

グラフ中の数字は実額（単位千円）
（令和3年度分は見込額）



(%)

教育費の一般会計に占める割合	
平成29年度	10.5
平成30年度	10.0
令和元年度	10.9
令和2年度	8.6
令和3年度	9.6

(%)

対前年比		
年度	一般会計	教育費
平成29年度	2.3	4.5
平成30年度	1.2	△ 3.1
令和元年度	2.8	12.3
令和2年度	34.4	5.6
令和3年度	△ 13.8	△ 3.3

(2) 教育費目的別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位：千円)

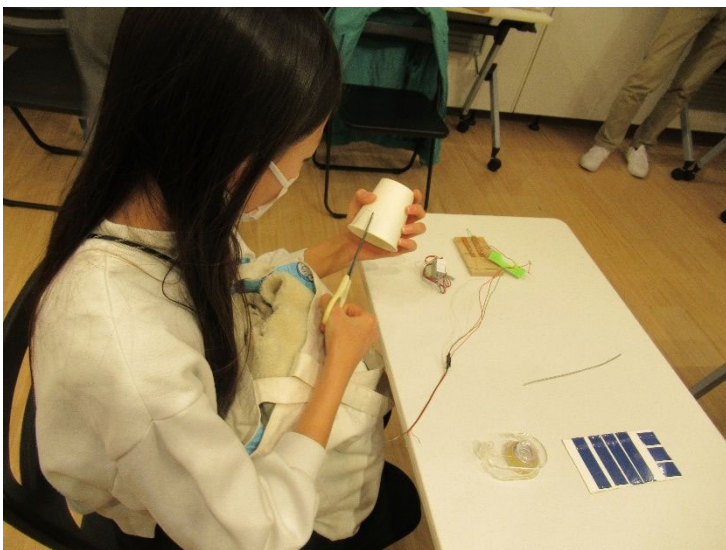
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込額
教育総務費	1,369,435 (17.9)	1,482,973 (20.0)	1,460,316 (17.5)	3,017,037 (34.3)	1,718,790 (20.2)
小学校費	2,251,543 (29.4)	1,859,547 (25.1)	3,252,617 (39.0)	1,676,286 (19.0)	1,764,628 (20.7)
中学校費	1,072,394 (14.0)	1,117,163 (15.0)	652,937 (7.9)	987,128 (11.2)	2,107,983 (24.8)
社会教育費	1,507,787 (19.7)	1,396,722 (18.8)	1,389,588 (16.7)	1,492,304 (17.0)	1,464,696 (17.2)
保健体育費	1,458,459 (19.0)	1,562,304 (21.1)	1,577,031 (18.9)	1,628,823 (18.5)	1,452,096 (17.1)
合計	7,659,618 (100.0)	7,418,709 (100.0)	8,332,489 (100.0)	8,801,578 (100.0)	8,508,193 (100.0)

(3) 教育費性質別決算額の推移

() は構成比 (%) (単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込額
人件費	1,296,794 (16.9)	1,272,599 (17.2)	1,276,599 (15.3)	1,720,434 (19.6)	1,714,305 (20.2)
物件費	3,367,907 (44.0)	3,676,640 (49.6)	3,710,603 (44.5)	4,865,446 (55.3)	3,379,756 (39.7)
補助費等	93,780 (1.2)	99,727 (1.3)	94,317 (1.1)	125,904 (1.4)	104,308 (1.2)
維持補修費	190,151 (2.5)	179,505 (2.4)	198,839 (2.4)	199,163 (2.3)	110,726 (1.3)
扶助費	389,301 (5.1)	360,982 (4.9)	345,722 (4.2)	258,993 (2.9)	304,395 (3.6)
普通建設 事業費	2,321,671 (30.3)	1,828,904 (24.6)	2,706,369 (32.5)	1,631,621 (18.5)	2,893,589 (34.0)
補助事業	1,533,623 (20.0)	939,675 (12.6)	1,246,402 (15.0)	793,790 (9.0)	1,421,586 (16.7)
単独事業	788,048 (10.3)	889,229 (12.0)	1,459,967 (17.5)	837,831 (9.5)	1,472,003 (17.3)
その他	14 (0.0)	352 (0.0)	40 (0.0)	17 (0.0)	1,114 (0.0)
合計	7,659,618 (100.0)	7,418,709 (100.0)	8,332,489 (100.0)	8,801,578 (100.0)	8,508,193 (100.0)

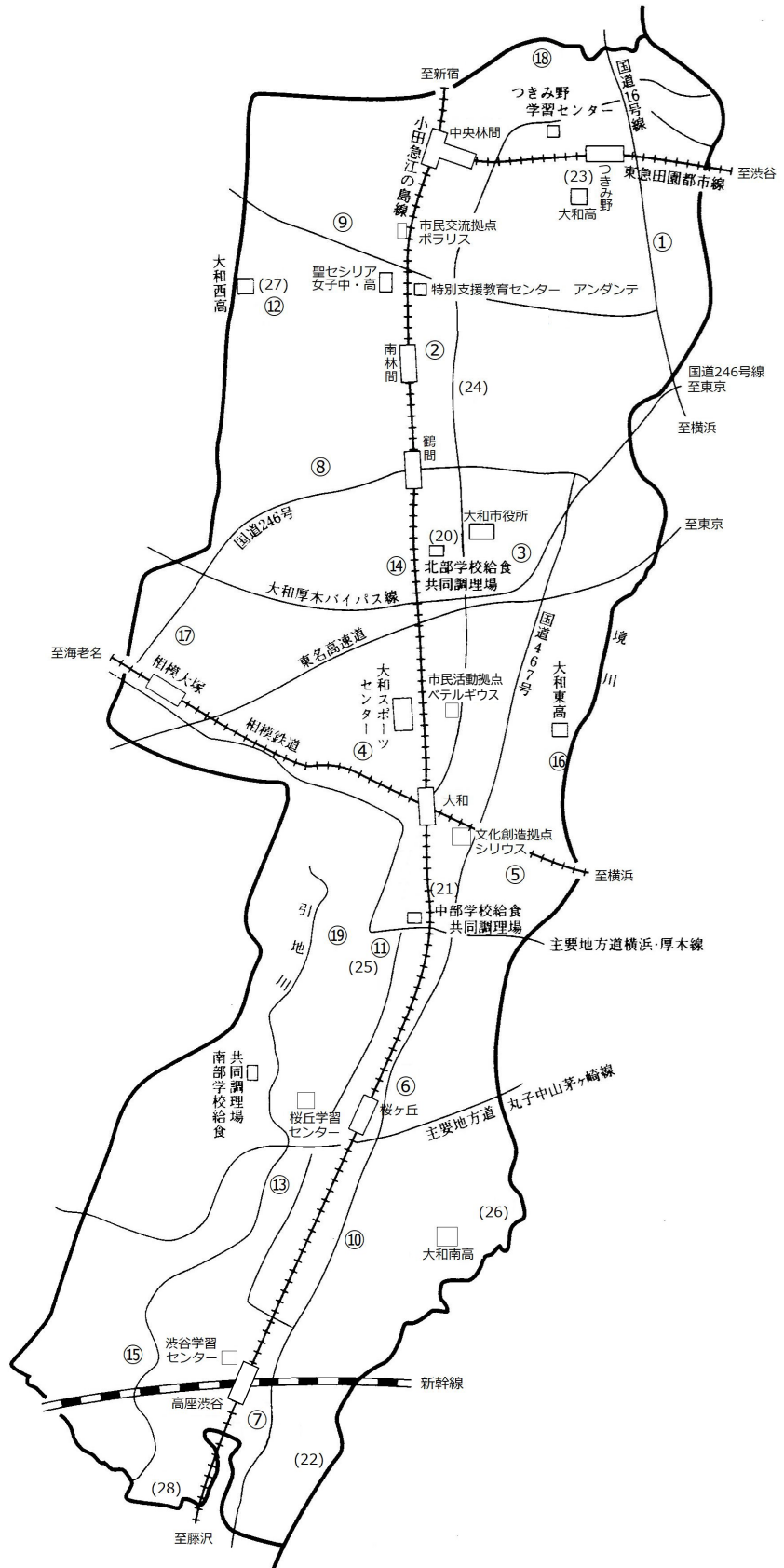
学校教育



学校教育施設位置図

- ① 北大和小学校
- ② 林間小学校
- ③ 大和小学校
- ④ 草柳小学校
- ⑤ 深見小学校
- ⑥ 桜丘小学校
- ⑦ 渋谷小学校
- ⑧ 西鶴間小学校
- ⑨ 緑野小学校
- ⑩ 上和田小学校
- ⑪ 柳橋小学校
- ⑫ 南林間小学校
- ⑬ 福田小学校
- ⑭ 大野原小学校
- ⑮ 下福田小学校
- ⑯ 大和東小学校
- ⑰ 文ヶ岡小学校
- ⑱ 中央林間小学校
- ⑲ 引地台小学校

- (20) 大和中学校
- (21) 光丘中学校
- (22) 渋谷中学校
- (23) つきみ野中学校
- (24) 鶴間中学校
- (25) 引地台中学校
・不登校特例校分教室
- (26) 上和田中学校
- (27) 南林間中学校
- (28) 下福田中学校



1. 市立学校一覽

(令和4年5月1日現在)

小 中 別	学校名	創立年月日	校長名	職員数 (定数) ・ 児童生徒数				学級数	開校記念日
				県費 職員	市費 職員	計	児 童 生 徒 数		
小 学 校	渋谷小	明治32.4.21	土佐野 睦	44	1	45	612	24	明治32.4.21
	大和小	〃 36.6.25	山内 辰徳	54	1	55	899	35	〃 36.6.25
	北大和小	昭和23.12.15	高島 裕樹	54	1	55	1100	38	昭和23.12.15
	林間小	〃 24.4.15	岡田 弘美	62	1	63	989	35	〃 24.4.15
	草柳小	〃 32.4.1	桐ヶ谷 淳子	31	5	36	395	16	〃 32.4.25
	桜丘小	〃 32.4.1	塚本 潤子	31	1	32	474	20	〃 32.5.25
	深見小	〃 32.7.15	中村 美紀	35	5	40	527	23	〃 32.7.15
	西鶴間小	〃 42.4.1	高井 洋一	42.5	1	43.5	729	27	〃 42.4.13
	緑野小	〃 46.4.1	遠藤 昌司	46	1	47	857	31	〃 46.5.29
	上和田小	〃 47.4.1	新井 隆	23	1	24	279	15	〃 47.4.26
	柳橋小	〃 48.4.1	久津間 仁	36	1	37	518	23	〃 48.5.15
	南林間小	〃 49.4.1	板坂 和明	35	1	36	594	24	〃 49.7.2
	福田小	〃 50.4.1	星 あゆみ	37	1	38	546	24	〃 50.5.28
	大野原小	〃 51.4.1	阿南 由美	41	1	42	717	29	〃 51.5.24
	下福田小	〃 53.4.1	江守 哲也	30	1	31	509	20	〃 53.6.5
	大和東小	〃 54.4.1	中村 強	34	1	35	523	22	〃 54.6.28
	文ヶ岡小	〃 55.4.1	寺山 智子	27	1	28	452	17	〃 55.6.5
	中央林間小	〃 57.4.1	吉田 美佳	41.5	1	42.5	767	29	〃 57.6.21
引地台小	〃 59.4.1	箱崎 勝美	22	1	23	310	14	〃 59.6.20	
中 学 校	大和中	昭和22.5.5	藤井 明	54	1	55	826	28	昭和22.5.5
	渋谷中	〃 22.5.5	清水 恭	29	1	30	301	12	〃 22.5.5
	光丘中	〃 35.4.1	竹中 崇	55	1	56	914	28	〃 35.6.1
	つきみ野中	〃 46.4.1	伊藤 英子	55.5	1	56.5	945	30	〃 46.5.22
	鶴間中	〃 50.4.1	小澤 裕之	34.5	1	35.5	448	15	〃 50.6.3
	引地台中	〃 51.4.1	島貫 稔	49.5	1	50.5	680	27	〃 51.6.1
	上和田中	〃 55.4.1	犬塚 克徳	31	1	32	366	14	〃 55.6.2
	南林間中	〃 56.4.1	四ノ宮 和仁	47.5	1	48.5	779	25	〃 56.6.10
下福田中	〃 58.4.1	溝口 広幸	24	1	25	341	11	〃 58.6.18	

※引地台中学校は、不登校特例校分教室を含む

2. 学校施設の状況

(令和4年5月1日現在・単位：㎡)

区分 学校名	校地面積	運動場	建物敷地	校舎面積	内 訳				武道場	体育館	プ ール
					鉄筋コン クリート 造	鉄 骨 造	木 造	そ の 他 造			
北大和小	16,429	9,093	7,336	8,267	8,204	43	20	0	0	666	
林間小	17,114	8,949	8,165	6,607	6,506	101	0	0	0	945	鋼板造 (25m×13m)
大和小	22,506	11,455	11,051	6,388	6,112	276	0	0	0	1,360	FRP (25m×13m)
草柳小	17,603	9,155	8,448	5,154	5,105	49	0	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
深見小	15,086	7,159	7,927	4,819	4,710	109	0	0	0	913	鋼板造 (25m×13m)
桜丘小	15,192	5,526	9,666	4,952	4,842	90	20	0	0	913	コンクリート造 (25m×13m)
渋谷小	14,764	6,984	7,780	6,327	6,048	279	0	0	0	968	FRP (25m×13m)
西鶴間小	17,389	9,549	7,840	4,646	4,545	101	0	0	0	690	コンクリート造 (25m×13m)
緑野小	14,033	4,023	10,010	5,923	5,842	81	0	0	0	813	FRP (25m×13m)
上和田小	14,687	8,740	5,827	5,052	4,977	75	0	0	0	666	鋼板造 (25m×13m)
柳橋小	12,781	7,523	5,258	6,699	6,608	91	0	0	0	686	鋼板造 (25m×13m)
南林間小	14,503	6,609	7,894	5,339	5,265	74	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
福田小	13,554	8,002	5,552	5,703	5,626	77	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
大野原小	13,161	7,125	5,916	5,636	5,545	91	0	0	0	666	アルミ造 (25m×13m)
下福田小	14,381	7,136	7,040	5,320	5,200	120	0	0	0	729	アルミ造 (25m×13m)
大和東小	12,598	5,563	5,970	4,495	4,416	79	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
文ヶ岡小	12,090	6,578	5,505	4,220	4,133	87	0	0	0	727	アルミ造 (25m×13m)
中央林間小	13,514	5,908	7,606	6,736	6,736	0	0	0	0	715	アルミ造 (25m×13m)
引地台小	13,658	7,662	5,996	4,295	4,141	154	0	0	0	729	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	285,043	142,739	140,787	106,578	104,561	1,977	40	0	0	15,146	
大和中	30,460	18,661	11,799	6,657	6,487	170	0	0	0	970	
光丘中	27,236	14,496	12,740	11,803	11,775	28	0	0	1,071	1,569	ステンレス造 (25m×13m)
渋谷中	15,717	7,726	7,991	10,011	10,011	0	0	0	1,032	1,110	FRP (25m×13m)
つきみ野中	20,496	10,097	10,399	7,505	7,177	328	0	0	809	1,314	ステンレス造 (25m×13m)
鶴間中	20,074	10,184	8,777	5,648	5,560	88	0	0	0	925	
引地台中	20,658	8,713	11,494	6,978	6,889	89	0	0	0	925	
上和田中	16,183	8,280	7,903	5,711	5,651	60	0	0	0	932	
南林間中	16,381	9,171	7,210	6,469	6,410	59	0	0	0	937	
下福田中	23,610	7,975	12,831	7,346	7,308	38	0	0	796	924	ステンレス造 (25m×13m)
小 計	190,815	95,303	91,144	68,128	67,268	860	0	0	3,708	9,606	
合 計	475,858	238,042	231,931	174,706	171,829	2,837	40	0	3,708	24,752	

3. 保有教室の内訳

(令和4年5月1日現在)

学校名	区分	普通	理科	生活	音楽	図画	家庭	視聴	P	図書	特別	相談	プレ	ラン	こと	総合・小	多	会	児	国	オ	教
		教室	室	室	室	工	科	覚	室	室	活	室	イル	チ	ば	合・小	目的	議	童	際	ー	材
北大和小		38	2	0	1	1	1	0	1	2	1	4	1	0	0	0	3	2	0	1	0	0
林間小		34	1	0	1	1	1	0	1	2	2	1	0	0	2	1	0	2	0	1	0	4
大和小		36	1	0	2	2	1	0	1	3	2	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	2
草柳小		17	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	3	1	0	1	0	0
深見小		22	1	0	1	1	1	0	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2
桜丘小		19	1	0	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1	0	0	2	2	0	1	0	2
渋谷小		23	1	0	1	1	1	1	1	1	0	2	1	0	2	1	1	1	1	3	0	2
西鶴間小		26	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
緑野小		30	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
上和田小		15	1	0	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	0	2	0	1	1	0	0	0
柳橋小		23	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
南林間小		22	1	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
福田小		22	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	4	4	2	0	1	0	3
大野原小		29	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1
下福田小		20	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0	1	0	3
大和東小		21	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
文ヶ岡小		17	1	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2
中央林間小		25	1	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	6
引地台小		14	1	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2
計		453	20	0	20	20	19	8	18	25	20	26	8	3	4	12	26	19	6	16	0	40
学校名	区分	普通	理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴	P	図書	特別	教育	P	会	多	学	国	生	プ	少	研	教
		教室	室	室	室	室	科	覚	室	室	活	相	研	議	目的	習	際	徒	レ	人	究	材
大和中		25	2	2	2	2	2	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	1	0	3	0	1
光丘中		28	2	2	2	2	2	1	1	1	0	4	0	5	3	2	1	1	0	0	0	5
渋谷中		12	2	1	1	2	2	1	1	1	0	1	0	2	3	2	1	0	1	0	0	4
つきみ野中		30	2	2	2	2	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
鶴間中		14	2	1	1	2	2	0	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1
引地台中		24	2	2	2	1	2	1	1	1	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2
上和田中		14	2	1	1	2	2	0	1	2	0	1	0	3	3	1	1	1	1	0	0	4
南林間中		25	2	1	1	1	2	1	1	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
下福田中		11	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	0	2	5	0	0	1	0	0	1	5
計		183	18	13	13	16	18	6	9	10	1	16	1	15	19	8	7	8	2	3	1	26

4. 学校施設の整備状況

(1) 校舎等の防音工事

大和市は、米海軍厚木基地に隣接しているため、航空機の騒音により学校の授業が中断されるなど教育面に大きな影響を受けています。そこで、これらの被害を軽減するため国の騒音防止対策事業によって、全校舎防音工事が施されています。

平成 29 年度 渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事を実施する。

南林間中学校復旧温度保持除湿工事を実施する。

平成 30 年度 下福田中学校復旧温度保持除湿工事を実施する。

令和元年度 大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事を実施する。

令和 3 年度 文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事を実施する。

鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事を実施する。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
29	渋谷小学校復旧防音及び大規模改修工事	797,535	147,793	87,522	562,220
	南林間中学校復旧温度保持除湿工事	281,086	0	234,539	46,547
30	下福田中学校復旧温度保持除湿工事	315,257	0	231,531	83,726
元	大野原小学校復旧防音及び大規模改修工事	985,478	134,057	332,136	519,285
3	文ヶ岡小学校復旧温度保持除湿工事	204,990	0	167,769	37,221
	鶴間中学校復旧防音及び大規模改修工事	1,189,897	77,603	376,604	735,690

(補助金の根拠法令) 防衛省 : 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律

文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

(2) 耐震補強工事

校舎等の耐震性能の向上を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。

① 校舎の耐震補強工事

平成 7 年度から平成 14 年度までに完了しました。

② 体育館の耐震補強工事

カマボコ型屋根を除き、平成 11 年度から平成 18 年度までに完了しました。

カマボコ型屋根体育館は、平成 22 年度までに建替え工事が完了しました。

※平成 22 年度を以って、市立小中学校全ての校舎及び体育館の耐震化率が 100%となりました。

(3) 非構造部材の耐震化工事

体育館・武道場などの屋内運動場等について非構造部材の耐震化を図ることにより、教育環境の安全を守るとともに、地域防災計画にある避難所として、より効率的な役割を果たします。屋内運動場等の非構造部材の耐震化は、平成 28 年度までに完了しました。

(4) 校舎等の増築工事

児童数の増加に伴う教室不足を解消し、快適な教育環境を確保する。

令和 元年度 北大和小学校増築工事を実施する。

令和 3 年度 中央林間小学校増築工事を実施する。

事業実績

(単位：千円)

年度	事業名	事業費	財源内訳		
			文科補助金	防衛補助金	一般財源他
元	北大和小学校増築工事	1,098,052	294,744	84,589	718,719
3	中央林間小学校増築工事	662,429	169,856	52,558	440,015

(補助金の根拠法令) 防衛省 : 防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律
文部科学省 : 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

5. 教育指導

指導室の重点目標 **全ての子どもたちの可能性を引き出す教育の創造と実践**
～一人ひとりの子どもにとって、最適な学びの実現を目指して～

予測困難な社会の変化に、子どもたちが主体的に対応する能力を身に付けるため、基礎的・基本的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力等をバランスよくはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことが必要です。そこで、すべての教育活動において、確かな学力を身に付け、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、健やかに生きる児童生徒の育成に努めていきます。

(1) 学校訪問

教育課程、学習指導、児童生徒指導、その他学校教育に関する専門的事項について指導助言を行うとともに、学校教育全般にわたる諸問題を把握し、本市教育の充実に努めます。

1. 計画訪問

- (1) 実施期間 5月～7月
- (2) 実施回数 小・中学校とも全体会1回
- (3) 内 容

全体会	◎指導室より、重点施策について説明する。 ◎校長・教頭とともに、協議を行う。 ①学校経営方針 ②教育課程 ③学校で重点を置く課題 ④指導室で設定するテーマ
-----	--

2. 要請訪問

- (1) 実施期間 6月～2月まで
- (2) 実施回数 原則、研究指定校は通年で3回まで。それ以外の学校も1回は実施。
- (3) 内 容

授業研究	◎授業実践に関する指導助言を行う。(指導案作成、授業実践前後の指導助言など) ◎校内研究に関する指導助言を行う。(推進委員会や校内研修会の指導助言など) ◎研究発表に関する指導助言を行う。(発表前、発表当日の指導助言など) ◎教育課程に関する指導助言を行う。(教科指導、評価のあり方、人権教育など) ◎特別支援に関する指導助言を行う。(校内支援、インクルーシブ教育など)
------	---

3. 訪問研修

- (1) 実施期間 5月～2月
- (2) 実施回数 2回(予定)
- (3) 内 容 指導室の提示する課題について、校内研修を実施。

4. 初任者訪問指導

- (1) 実施期間 9月～2月
- (2) 実施回数 原則として従来方式の学校のみ初任者1名に対して1回実施。
県央教育事務所指導訪問を兼ねる。(本市指導主事と2名で訪問指導を行う)
- (3) 内 容 教科の授業実践に関する指導助言を行う。

(3) 研究

各学校の自主的研究の高揚を図り、教育の質的向上を実現するために、研究委託校を設置し、研究の成果を研究集録にまとめ、本市の学校教育に反映させています。

① 委託研究

学校名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
北大和小	互いに聴き合い学び合う児童の育成を目指して	互いに聴き合い学び合う児童の育成	互いに聴き合い学び合う児童の育成 ～自ら伝える力の向上を目指して～	互いに聴き合い学び合う児童の育成 ～自ら伝える力の向上を目指して～	学びを深める児童の育成～自ら問題を見いだして考えを深める子～
林間小	思考力を伸ばす授業～なぜどうして？と進んで考える子どもの育成を目指したカリキュラムマネジメント～	考える力を伸ばすカリキュラムマネジメント	授業改善で育む主体的に学ぶ能力	生活に生きる読解力の向上を目指して～読む力・考える力・表現する力の育成を通して～	豊かに表現する子どもを育む授業づくり～読解力(読む力・考える力・表現する力)の育成を通して～
大和小	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～協働的な活動を取り入れた問題解決を通して～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～よりよい関わりの中で、「見方・考え方」を働かせる授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～よりよい関わりを生む、「見方・考え方」を働かせた授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～活用的な語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～
草柳小	「共に学び、共に生きる」～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～	共に学び、共に生きる～つきたい力を明確にし、子どもに力をつける、指導と評価の研究～
深見小	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成をめざして	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成を目指して	自分の考えをもち、進んで学び合う深見っ子の育成を目指して	聴く力を付けよう～主体的に取り組む態度の育成をめざして～	「わかった」「できた」を実感できる授業づくり～自己肯定感の育成～
桜丘小	「学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして」	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして～「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた体育科の授業づくりの研究～	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と学習評価～	これからの時代を生き抜く力を育む～自信をもって自分を表現できる子どもの育成～
渋谷小	関わり合い・学び合い	関わり合い・学び合い	「できた!」「分かった!」を実感できる子の育成～主体的に学ぶ意欲と確かな学力の向上を目指して～	「わかった!」「できた!」を実感できる子の育成～主体的に学ぶ意欲と確かな学力の向上を目指して～	「わかった!」「できた!」を実感できる子の育成～基礎学力の向上を目指して～
西鶴間小	「学びの基礎となる言語力の育成」～基礎・基本の定着につながる指導方法について～	基礎・基本が定着するための指導方法について～反復学習の徹底～	新学習指導要領への改訂に向けて～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～	基礎基本の定着をはかるための、効果的な指導法の追求	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業づくり～クロムブックを媒体とした心のふれあい～
緑野小	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」～地域に根ざした緑野カリキュラムの創造～	自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして～地域に根ざした緑野カリキュラムの創造～	「自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして」育成を目指す資質・能力を明確にした緑野カリキュラムの創造～自己の生き方を考えていくために～	自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして～伝え合うことを通じて学びを深める子どもを育てるために～	主体的に学びに向かい、ICTを活用してよりよく課題解決する子どもの育成
上和田小	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～子どもたちの意欲を高める国語科『読むこと』の授業づくり～	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～「特別の教科 道徳」の指導と評価について～	伝え合い、深め合い、高め合う子どもの育成をめざして～「特別の教科 道徳」の指導と評価～	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～
柳橋小	確かな学びをめざして～かかわり合いの中から学ぶ～	かかわり合いの中から学ぶ～友だちと伝え合い、考えを深める授業づくり～	自分で考え、かかわり合いの中で学ぶ子どもの育成を目指して～伝え合い・学び合い・高め合い「あい」のあふれる授業づくり～	自分で考え、かかわり合いの中で学ぶ子どもの育成を目指して～伝え合い・学び合い・高め合い「あい」のあふれる授業づくり～	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して～かかわり合いを通して、自分の成長を実感できる授業づくり～
南林間小	主体的・対話的な学びから表現力の育成をめざして～情報機器の効果的な活用～	主体的・対話的に学ぶ児童の育成～ICTの効果的な活用～	主体的・対話的に学ぶ児童の育成～ICTの効果的な活用～	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～
福田小	主体的に学ぶ児童の育成	主体的に学ぶ児童の育成	主体的に学ぶ児童の育成	自分の考えを持ち、発信する力を育む国語力の育成～書く活動を通して～	自己肯定感を高め、互いに認め合う児童の育成

大野原小	心身ともに健康な子どもをめざして～かかわり合いを大切に、めあてを持って自らを高めようとする子の育成～	心身ともに健康な子どもをめざして～自他を大切に、より良い人間関係を築く道徳教育の充実～	心身ともに健康な子どもをめざして～自他を大切に、より良い人間関係を築く道徳教育の充実～	友だちと豊かなかかわり合いができる子～語彙力の向上をめざした国語科の基礎基本の充実～	友だちと豊かなかかわり合いができる子～読むことを中心とした語彙力の向上～
下福田小	社会科/生活科の本質にせまる授業の工夫～課題解決力の向上を目指して～	自分の考えを表現できる授業づくり	自分の考えを深める子～つながりを意識した授業づくり～	自分の考えを深める子～つながりを意識した授業づくり～	いきいきと表現できる下福っ子をめざして～国語科での言語活動の充実～
大和東小	「自ら考え主体的に取り組む子の育成をめざして」～心のふれあいを大切にした道徳教育～	自ら考え、主体的に取り組む子の育成をめざして～心のふれあいを大切にした道徳教育～	自ら学び、考えを豊かに伝え合う子どもの姿を追い求めて～思考力・想像力、言語感覚を養う学習の充実を通して～	主体的・対話的で深い学びを目指して～聴いて、考えて、学び合う日々の授業の充実を通して～	主体的で対話的な学びを通して、考えを深められる子どもの育成～ICT機器を活用した授業改善～
文ヶ岡小	学力向上につながる日常授業の改善	学力向上につながる日常授業の改善	学力向上につながる日常授業の改善	主体的な家庭学習の指導～学びに向かう力を高める～	学びに向かう力を育てる～自分で考え、自信を持って学び続ける子～
中央林間小	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子を目指して～カリキュラムマネジメントを通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子を目指して～道徳科の授業を通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子をめざして～全員が参加できる道徳科の授業を通して～	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子をめざして～全員が参加できる道徳科の授業を通して～	一人一台端末の効果的活用場面の探求～よりよい授業を目指して～
引地台小	もっと高め合える学習指導の工夫～国語科を土台とした合科的な学習を通して相手を認め、知識を深め、ともに学び合う楽しさを知り、お互いの成長を喜び合える子を育てる～	高め合える学習指導の工夫～国語科を土台とした横断的な学習を通して、相手を認め、知識を深め、ともに学び合う楽しさを知り、お互いの成長を喜び合える子を育てる～	認め合う・学び合う子の育成～ICTの有効な活用～	主体的・対話的で深い学び～ICT活用の試行～	授業のアップデート～主体的・対話的で深い学び～
大和中	「知力・体力・共生力」の育成～持続可能な未来を拓く豊かな心と実践力の育成をめざして～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校を目指して～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校を目指して～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～生徒一人ひとりの自己肯定感を育む学習をめざして～	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成～人間関係を土台とした、生徒全員が生き生きと活動できる学校をめざして～
光丘中	「夢に向かって輝く子供の育成を目指す小中連携」	夢に向かって輝く子供の育成を目指す小中連携	特別の教科 道徳の授業研究及び評価について	道徳教材の蓄積及び評価について	新学習指導要領における評価について
渋谷中	「学習意欲を高めるための授業改善」～情報機器の活用を推進して～	知識の習得から、活用・探求までの学習過程を見通す～知識を生かす道筋を立てる授業を目指して～	知識の習得から、活用・探求までの学習過程を見通す研究Ⅱ～新学習指導要領の完全実施へ向けて～	新指導要領に向けて	地域に根差し、未来を生き抜く力の育成～SDGsの取り組みを通して～
つきみ野中	居場所づくり・絆づくり～みんなが愛着を持てる学校づくりを目指して～	居場所づくり・絆づくり～みんなが愛着を持てる学校づくりを目指して～	生徒の心を育てる実践のための「道徳教育の研究」	新学習指導要領に準じた評価基準の研究	新学習指導要領に準じた『主体的に学習に取り組む態度』の評価の研究
鶴間中	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる道徳教育の推進～	「鶴舞の学び」の創造～豊かな人間関係を育てる道徳教育の充実～	『世界へ羽ばたく「鶴舞い市民」の育成』～鶴舞いの里から世界へ、地域と連携した学校づくり～	「学びあい活動」を取り入れた授業実践の継続	生徒の学び合いとタブレット機器の活用
引地台中	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切に授業をめざして～	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切に授業をめざして～	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～学び合う力を育み、自ら気づく喜びを大切に授業を目指して～	新学習指導要領における観点別学習評価について	主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成～ICT機器の効果的な活用を通して学び合う力を育み自ら気づく喜びを大切に授業づくり
上和田中	道徳教育をとおして育む健やかで豊かな心～思いやる心・自主自律の心・向上心をもたせる指導実践～	道徳力向上の実践と評価について～指導と評価の一体化をめざしたワークシートづくり～	教育活動全体を通して行う道徳教育～各教科、総合的な学習の時間、特別活動などで育む道徳性～	新学習指導要領に向けての授業改善と評価	新学習指導要領に対応した授業改善と評価
南林間中	「わかる授業」づくりを目指して～基本的な知識や技能を身につけさせるために～	達成度を明確にした授業づくり～目指すべき生徒像の育成のために～	生徒が各教科の「見方・考え方」を働かせる授業づくりの研究～(意図的な)習得・活用・探究の場面の設定の工夫～	本時のねらいを明確にした授業づくりの研究～評価方法とBの設定・生徒を到達させるための具体的な手立ての工夫～	主体的に学習に取り組む態度を育む授業づくりと評価方法の研究
下福田中	対話をとおして生徒をつなぐ授業づくり	迷いや葛藤を大切にした対話的授業づくり～学びあう教員集団として～	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	生徒とともに創る主体的な「学び」の場

② 指定研究・特別委託

学校名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
北大和小		ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校		
林間小					
大和小			教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校
草柳小	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	教育課題研究推進校			
深見小	ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校				
桜丘小				教育課題研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校	教育課題研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校
渋谷小					
西鶴間小		小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校	ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校
緑野小		小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校		
上和田小				小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校
柳橋小		ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校		
南林間小		小・中学校連携実践研究協力校	小・中学校連携実践研究協力校		
福田小				ふれあい教育実践研究推進校	ふれあい教育実践研究推進校
大野原小					
下福田小	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校		
大和東小	ふれあい教育実践研究推進校 小・中学校連携実践研究協力校				
文ヶ岡小	小・中学校連携実践研究協力校				
中央林間小					

引地台小					
大和中					
光丘中	小・中学校連携実践 研究協力校				
渋谷中				ふれあい教育実践研 究推進校	ふれあい教育実践研 究推進校
つきみ野中	ふれあい教育実践研 究推進校				教育課題研究推進校
鶴間中		ふれあい教育実践研 究推進校	ふれあい教育実践研 究推進校		
引地台中	教育課題研究推進校				
上和田中				小・中学校連携実践 研究推進校	小・中学校連携実践 研究推進校
南林間中		小・中学校連携実践 研究推進校	小・中学校連携実践 研究推進校		
下福田中		教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	教育課題研究推進校	

③児童生徒指導関係

ア 指導力の向上と指導体制の確立

大和市いじめ防止基本方針の徹底

学校別児童指導研修会

学校別生徒指導研修会

イ 小・中学校の連携の強化

いじめ問題対策連絡協議会

ウ 家庭・地域社会等との連携の強化

地域活動推進事業

大和市家庭地域教育活性化会議

公立中学校校長・生徒指導担当者と保護司との連絡協議会

エ 児童・生徒指導の研究・推進

小・中学校連携実践研究推進校の設置

児童・生徒指導推進事業

児童支援中核教諭の配置（全小学校 19 校）

オ 教育相談の推進

④特別支援教育関係

- ア 大和市特別支援教育センター（アンダンテ）の設置（令和元年度から）
 - a はぐくみの教室(通常の学級に在籍する情緒・行動面等に課題のある児童生徒の通級指導教室)
 - b ひだまりの教室(特別支援学級に在籍の不登校児童生徒の教育支援教室)
 - c 教育的ニーズのある児童・生徒に対する教育相談体制の充実
 - 就学相談
 - 障がいのある児童・生徒・保護者に関する相談
 - d 特別支援教育に関する研究・研修及び理解・啓発
 - 校内支援体制の充実
 - 交流・共同学習の推進
 - 特別支援教育研修会
 - 大和市特別支援教育研究会委託
- イ 特別支援教育ヘルパー配置（平成4年度から）
- ウ 特別支援教育スクールアシスタント配置（平成16年度から）
- エ ことばの教室（平成6年度から）
- オ 大和市立病院院内学級（病虚弱児学級）（平成6年度から）
- カ 医療的ケアが必要な児童生徒に対する看護師派遣（平成30年度から）

(4) 国際教育

国際教育の推進を図るとともに、外国人児童生徒及び帰国児童生徒の適応指導、日本語指導、特性の保持・伸長のために国際教室を設置しています。また、昭和61年度から、外国人英語指導助手の派遣を行い、平成11年度からは、英語指導等のため、小学校に国際教育指導員を派遣するなど、英語指導の充実と国際交流活動に努めています。

また、平成30年度から、外国人児童生徒支援コーディネーター、日本語指導巡回教員、日本語指導アドバイザーを配置し、外国につながる児童生徒への日本語指導・教科指導等の支援の充実に努めてまいります。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国際教室	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 上和田小学校 大和東小学校 緑野小学校 中央林間小学校 南林間小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校	渋谷小学校 林間小学校 西鶴間小学校 柳橋小学校 大和小学校 桜丘小学校 大野原小学校 福田小学校 大和東小学校 緑野小学校 南林間小学校 北大和小学校 下福田小学校 草柳小学校 文ヶ岡小学校 深見小学校 引地台中学校 光丘中学校 渋谷中学校 大和中学校 南林間中学校 上和田中学校 鶴間中学校
英語指導助手	3名	3名	3名	3名	3名
外国人児童生徒支援 コーディネーター	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 巡回教員	1名	1名	1名	1名	1名
日本語指導 アドバイザー	1名	1名	1名	1名	1名

小学校外国語活動指導助手	9名	9名	12名	12名	12名
外国人児童生徒教育相談員	19名	19名	19名	22名	22名
	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス・タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語	カンボジア語 ベトナム語 ラオス語 タイ語 スペイン語 ポルトガル語 中国語 タガログ語
日本語指導員	7名	6名	7名	7名	7名

(5) 学校への助成等

番号	内容／年度	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
1	児童・生徒指導強化対策事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	進路指導推進事業委託	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	特別支援教育推進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	教育研究会等補助事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	健康増進特別事業補助金（キャンプ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	健康増進特別事業補助金（福祉体験）	—	—	—	—	○	○	○	○	○
7	健康増進特別事業補助金（車いすバスケ）	—	—	—	—	—	○	○	○	○
8	文化的行事助成事業補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	美術鑑賞事業補助金（小学校のみ）	○	○	○	○	○	○	○	×	×
10	神奈川県中学校文化連盟大和支部総合文化祭補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	教職員研修参加負担金	○	○	×	×	×	×	×	×	×
12	学校別児童・生徒指導研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	×
13	地域教育力活用推進事業（勤労生産学習推進事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	地域教育力活用推進事業（教育支援者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	中学校部活動指導者派遣事業・部活動補助金	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6. 児童・生徒及び教職員の推移

(1) 最近5ヶ年の小・中学校別児童生徒数（各年5月1日現在）

学 校 \ 年	30	元	2	3	4
北 大 和 小	1,141	1,131	1,142	1,095	1,100
林 間 小	960	954	978	984	989
大 和 小	1,040	1,006	991	915	899
草 柳 小	450	435	420	400	395
深 見 小	498	506	531	522	527
桜 丘 小	423	443	457	466	474
渋 谷 小	636	626	635	633	612
西 鶴 間 小	675	669	699	696	729
緑 野 小	786	793	818	846	857
上 和 田 小	314	288	272	275	279
柳 橋 小	538	542	546	538	518
南 林 間 小	613	605	606	605	594
福 田 小	631	607	593	563	546
大 野 原 小	725	696	713	706	717
下 福 田 小	501	494	501	490	509
大 和 東 小	493	499	505	508	523
文ヶ岡小	475	488	476	470	452
中央林間小	619	659	680	737	767
引地台小	362	358	363	328	310
計	11,880	11,799	11,926	11,777	11,797
大 和 中	791	833	822	853	826
光 丘 中	839	851	866	909	914
渋 谷 中	305	311	293	309	301
つきみ野中	871	896	876	932	945
鶴 間 中	411	416	439	441	448
引地台中	628	634	639	666	680
上 和 田 中	354	338	357	365	366
南 林 間 中	803	759	752	758	779
下 福 田 中	303	300	315	338	341
計	5,305	5,338	5,359	5,571	5,600

(2) 年度別学校職員定数

〈小学校〉

各年5月1日現在

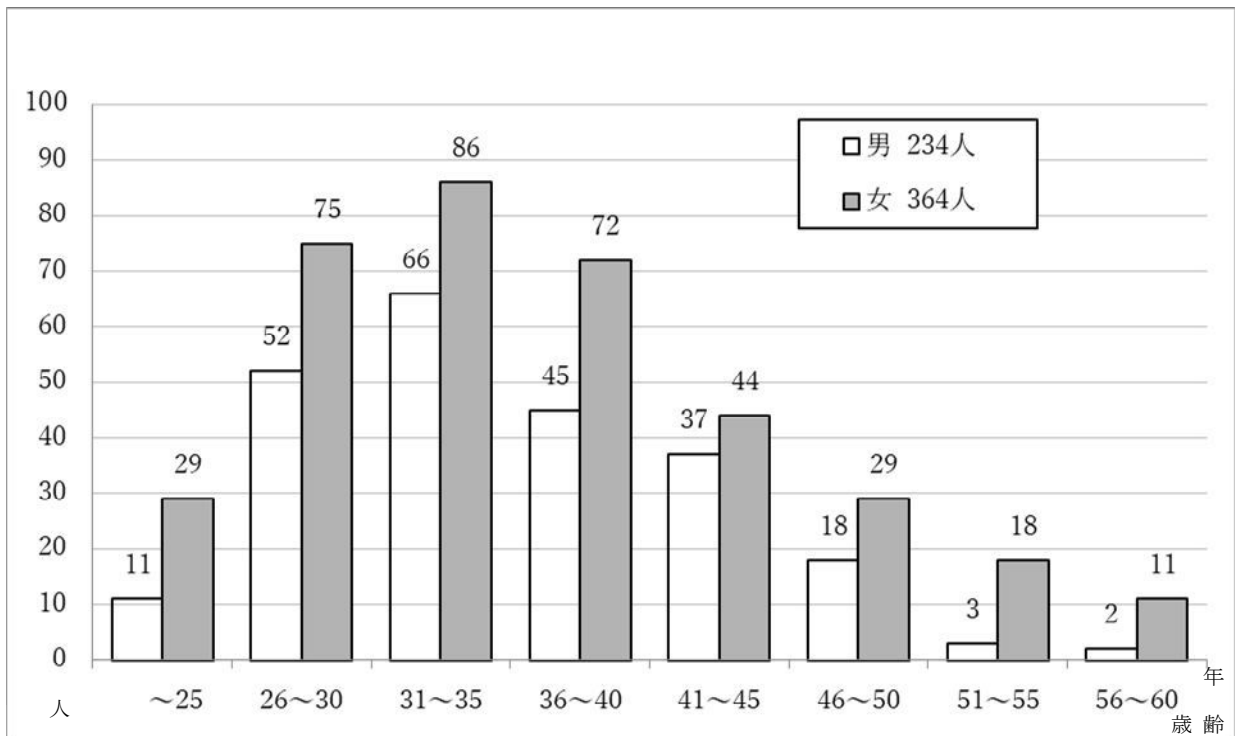
年度 区分	30	元	2	3	4
校長・教頭	38	38	38	38	38
総括教諭・教諭	581	599	612	623	628
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	22	22	22	22	23
栄養教諭	4	4	4	4	4
事務職員	28	27	27	27	28
栄養士	5	5	5	5	5
学校給食員	8	8	8	8	8
庁務作業員	19	19	19	19	19
合 計	705	722	735	746	753

〈中学校〉

年度 区分	30	元	2	3	4
校長・教頭	18	18	18	18	18
総括教諭・教諭	311	318	322	329	333
講 師	—	—	—	—	—
養護教諭	12	12	12	12	12
栄養教諭	1	1	1	1	1
事務職員	16	15	15	15	15
栄養士	1	1	1	1	1
庁務作業員	9	9	9	9	9
合 計	368	374	378	385	389

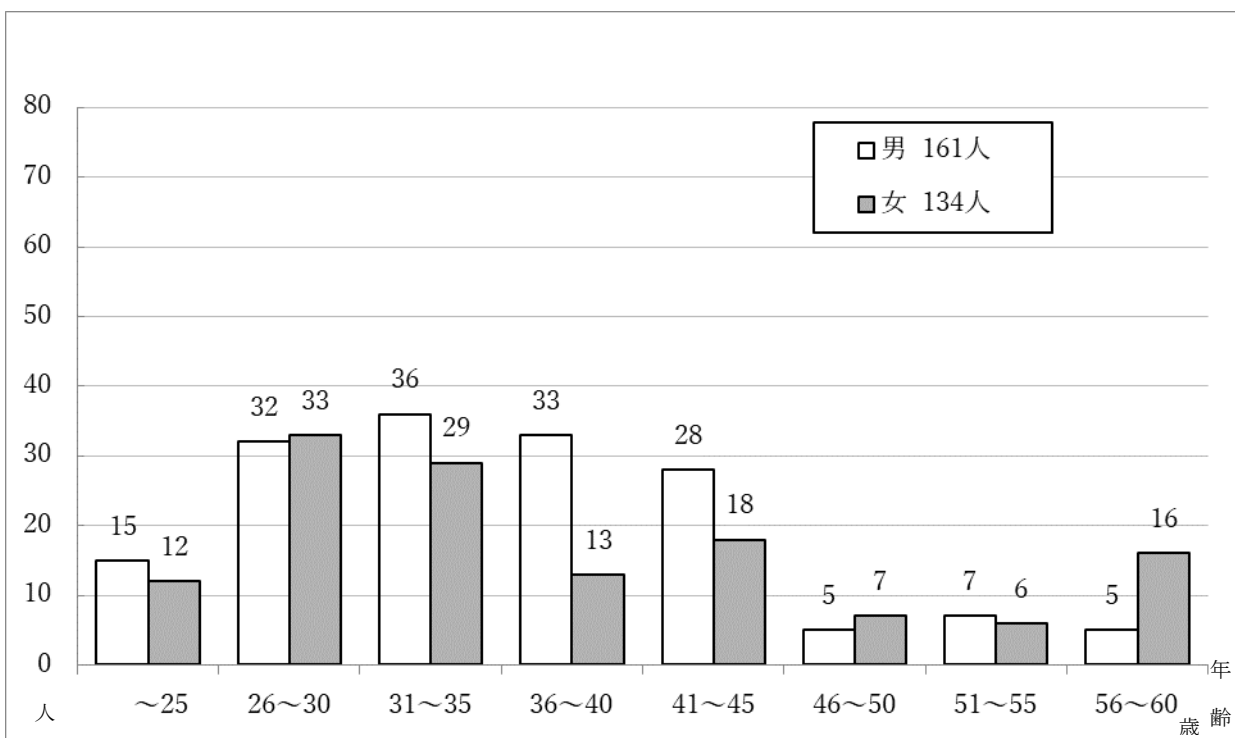
(3) 教員の年齢別・男女別一覧（校長・教頭・再任用教諭・養護教諭・事務・栄養・市費を除く）

小学校



※年齢は、令和4年度末時

中学校



※年齢は、令和4年度末時

7. 特別支援学級

〈学級数・児童生徒数の推移〉

各年5月1日現在

区 分		年				
		30	元	2	3	4
小 学 校	学級数	83	86	90	94	94
	児童数	422	448	475	508	540
中 学 校	学級数	31	33	36	40	36
	生徒数	145	153	162	166	180
計	学級数	114	119	126	134	130

8. 進路状況

〈年度別中学校卒業者の進路状況〉

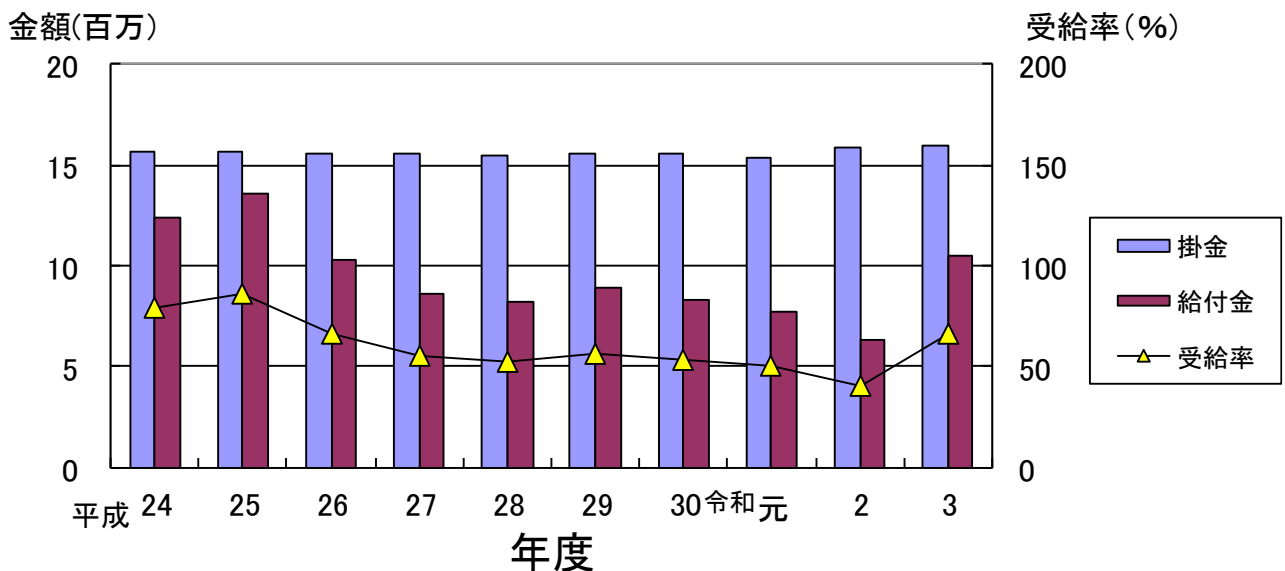
区 分		年 度									
		29		30		元		2		3	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
卒業者総数	男	936	100.0	954	100.0	951	100.0	920	100.0	908	100.0
	女	938	100.0	860	100.0	827	100.0	832	100.0	925	100.0
高校進学者	男	922	98.5	944	99.0	933	98.1	908	98.7	894	98.4
	女	927	98.8	853	99.2	815	98.5	827	99.4	912	98.6
就 職 者	男	1	0.1	2	0.2	2	0.2	1	0.1	0	0
	女	1	0.1	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
就職・進学者	男	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
各種学校等	男	9	1.0	5	0.5	10	1.1	7	0.8	8	0.9
	女	3	0.3	3	0.3	5	0.6	3	0.4	8	0.9
そ の 他	男	4	0.4	3	0.3	6	0.6	4	0.4	6	0.7
	女	7	0.7	3	0.3	7	0.8	2	0.2	5	0.5

9. 日本スポーツ振興センター

(1) 掛金等の状況

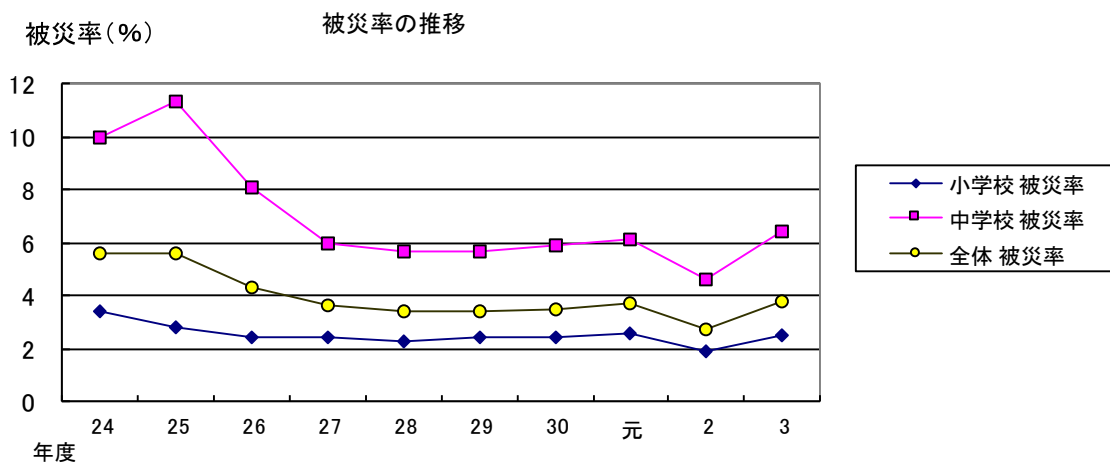
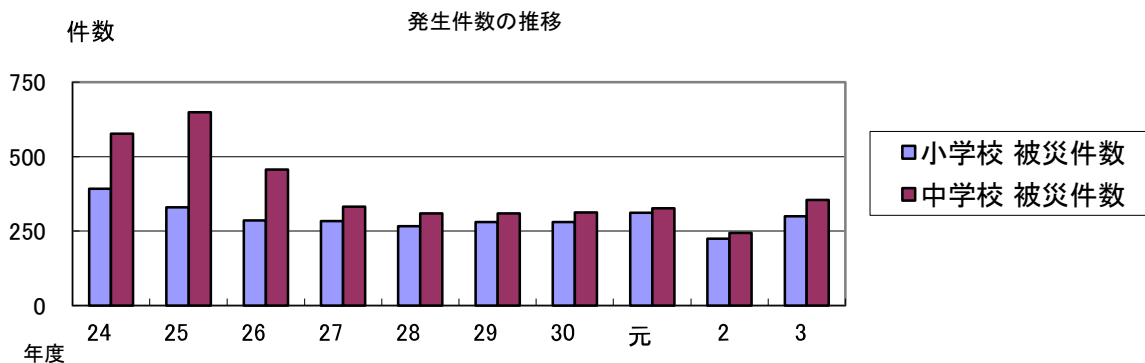
年 度	掛 金	給 付 金	受 給 率	備 考
平成 24	15,681,845	12,410,473	79.1	
25	15,633,195	13,542,057	86.6	
26	15,488,960	10,317,541	66.6	
27	15,507,705	8,631,574	55.7	
28	15,475,475	8,182,016	52.9	
29	15,547,420	8,881,465	57.1	
30	15,586,715	8,331,086	53.4	
令和 元	15,360,555	7,735,899	50.4	
2	15,810,275	6,350,739	40.2	
3	15,901,505	10,513,611	66.1	

掛金等の推移



(2) 災害発生状況

区分 内訳	小学校			中学校			合計		
	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率	加入者数	被災件数	被災率
平成 24	11,582	392	3.4	5,756	577	10.0	17,338	969	5.6
25	11,534	330	2.9	5,733	649	11.3	17,267	979	5.7
26	11,504	286	2.5	5,587	457	8.2	17,091	743	4.3
27	11,628	284	2.4	5,517	332	6.0	17,145	616	3.6
28	11,618	266	2.3	5,467	309	5.7	17,085	575	3.4
29	11,729	280	2.4	5,432	309	5.7	17,161	589	3.4
30	11,880	280	2.4	5,305	313	5.9	17,185	593	3.5
令和 元	11,799	311	2.6	5,338	327	6.1	17,137	638	3.7
2	11,926	224	1.9	5,359	244	4.6	17,285	468	2.7
3	11,777	300	2.5	5,571	355	6.4	17,348	655	3.8



10. 就学援助及び特別支援教育就学奨励

(1) 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して援助を行います。

〈就学援助費支給状況〉

令和3年度（単位：円）

区分 内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	2,190	97,292,573	1,087	53,632,081	3,277	150,924,654
学用品費・通学用品費・校外活動費等	2,201	30,492,660	1,117	27,945,480	3,318	58,438,140
新入学児童生徒学用品費	144	7,352,640	33	1,980,000	177	9,332,640
修学旅行費	387	8,308,415	375	16,332,506	762	24,640,921
通 学 費	0	0	1	80,880	1	80,880
体育実技用具費	0	0	15	28,950	15	28,950
宿泊を伴う校外活動費	288	990,411	338	2,015,070	626	3,005,481
入 学 準 備 金	625	35,256,060			625	35,256,060
医 療 費	0	0	0	0	0	0
めがね購入費	166	2,773,484	161	2,714,880	327	5,488,364

(2) 特別支援教育就学奨励

大和市の小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するため行います。

〈特別支援教育就学奨励費支給状況〉

令和3年度（単位：円）

区分 内訳	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
給 食 費	225	5,088,920	72	1,767,444	297	6,856,364
学用品費・通学用品費・校外活動費	219	1,330,415	72	757,116	291	2,087,531
新入学児童生徒学用品費	52	1,307,555	26	753,740	78	2,061,295
修学旅行費	31	322,957	18	339,665	49	662,622
宿泊を伴う校外活動費	21	37,201	19	57,243	40	94,444
交流及び共同学習費	0	0	0	0	0	0
職 場 実 習 費	0	0	0	0	0	0
通 学 費	33	33,954	12	67,425	45	101,379
体育実技用具費	0	0	0	0	0	0

11. 学校給食

学校給食は、食事を通じ、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、正しい食事のマナーや栄養のとり方、望ましい食習慣を養い、感謝の気持ちを持って食べる態度を育てることを目標として実施しています。

大和市における学校給食は、昭和34年に市立林間小学校で主食と牛乳（脱脂粉乳）とおかずによる完全給食が実施され、単独調理校として始まりました。

現在では、3ヶ所の共同調理場と8ヶ所の単独調理校で大和市立小・中学校の完全給食を実施しています。

また、日本型食生活が見直されている中で、米飯給食を昭和57年4月から週1回実施し、その後、昭和63年4月から週2回に増え、平成22年6月より週4回の米飯の提供を実施しています。さらに、平成12年から自校・場炊飯を開始し、現在は年16回実施しています。また、給食環境整備の一環として、余裕教室を利用したランチルームを設置（現在3校）するほか、平成22年4月より、食器材質をアルマイトから樹脂製食器に変え、先割れスプーンを廃止し、箸を導入したことで、より充実した食環境となりました。

平成25年4月には「大和市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成し、給食費の飲用牛乳アレルギー返金を開始しました。また、平成26年4月からは第3子以降学校給食費助成事業を行っています。

(1) 調理方式別による学校数（令和4年5月1日現在）

① 単独調理校	小学校	8校
② 共同調理場受入校	小学校	11校
	中学校	9校

(2) 学校給食の内容

① 沿革（完全給食開始年月日）

開始年月	学校名	開始年月	学校名
昭和34年2月	※林間小学校	昭和38年2月	桜丘小学校
〃 36年1月	大和小学校	〃 42年5月	西鶴間小学校
〃 37年2月	北大和小学校	〃 48年4月	※北部共同調理場
〃 37年2月	草柳小学校	〃 51年9月	南部共同調理場
〃 37年2月	深見小学校	〃 55年9月	中部共同調理場
〃 38年2月	渋谷小学校	※林間小学校で市内小学校最初の完全給食を実施。 ※北部共同調理場で市内中学校最初の完全給食を実施。	

② 給食内容

学校給食に供する食物は、パン・米飯・牛乳・おかずの組み合わせによる献立を1食分とし、児童・生徒の栄養がみたされるように工夫されています。

A 学校給食における食事内容…………… 別表1

B 給食費及び給食単価（令和4年度分）

小学校 4,260円×11ヶ月÷191回=245円

中学校 4,740円×11ヶ月÷186回=280円

C 給食費の推移…………… 別表2

別表1 学校給食における食事内容

文部科学省基準（児童生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準）

区 分	栄 養 量			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	生徒（12歳～14歳）の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μgRAE)	160	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

(注) 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜 鉛……………児童（6～7歳）2mg, 児童（8～9歳）2mg, 児童（10～11歳）2mg
生徒（12～14歳）3mg

2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

別表2 給食費の推移

年 度	給 食 費	年 度	給 食 費	年 度	給 食 費
昭和34	(小) 360円	49～50	(小) 2,000円	4～9	(小) 3,500円
37	(小) 450円		(中) 2,300円		(中) 4,000円
38～39	(小) 500円	51～52	(小) 2,400円	10～20	(小) 3,700円
40～41	(小) 650円		(中) 2,800円		(中) 4,150円
42～44	(小) 750円	53～54	(小) 2,600円	21～23	(小) 4,000円
45	(小) 900円		(中) 3,000円		(中) 4,450円
46	(小) 1,100円	55～56	(小) 2,800円	24～25	(小) 4,140円
47	(小) 1,250円		(中) 3,200円		(中) 4,600円
48	(小) 1,500円	57～平成3	(小) 3,100円	26～	(小) 4,260円
	(中) 1,500円		(中) 3,600円		(中) 4,740円

※平成24年度は提供回数増に伴う改定。※平成26年度は消費税増税に伴う改定。

③ 献立の作成方法

献立は、1ヶ月ずつ市内統一献立が作成され、各校・場で実施されています。作成時には、栄養面・経済面・衛生面・作業面・地域面・嗜好面を考慮し、児童・生徒にあった献立を考えています。

④ 物資の購入方法

物資の購入にあたっては、給食用物資の適正な納入を図ることを目的として、運営されている物資選定委員会があり、この会は、学校長・場長・給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・教育委員会の各代表により構成され、年6回開催されています。

(3) 単独調理校

単独調理校は、小学校のみ8校です。各学校では、学校長始め、給食担当教諭・栄養教諭・栄養士・給食調理員が協力して給食の充実を図っています。

(4) 学校給食共同調理場

共同調理場は現在、北部学校給食共同調理場・中部学校給食共同調理場・南部学校給食共同調理場の3調理場で受入校（小学校11校、中学校9校）の給食を提供しています。

各共同調理場は場長・栄養士が中心となり、調理・配送業務等は民間業者に委託して、給食の充実を図っています。

* 大和市学校給食共同調理場運営協議会

運営協議会は、調理場の運営に関する重要な事項について審議し、又調査研究を行い助言することを目的に設置され、小中学校長・PTA・学識経験者等、12人の委員で組織されています。

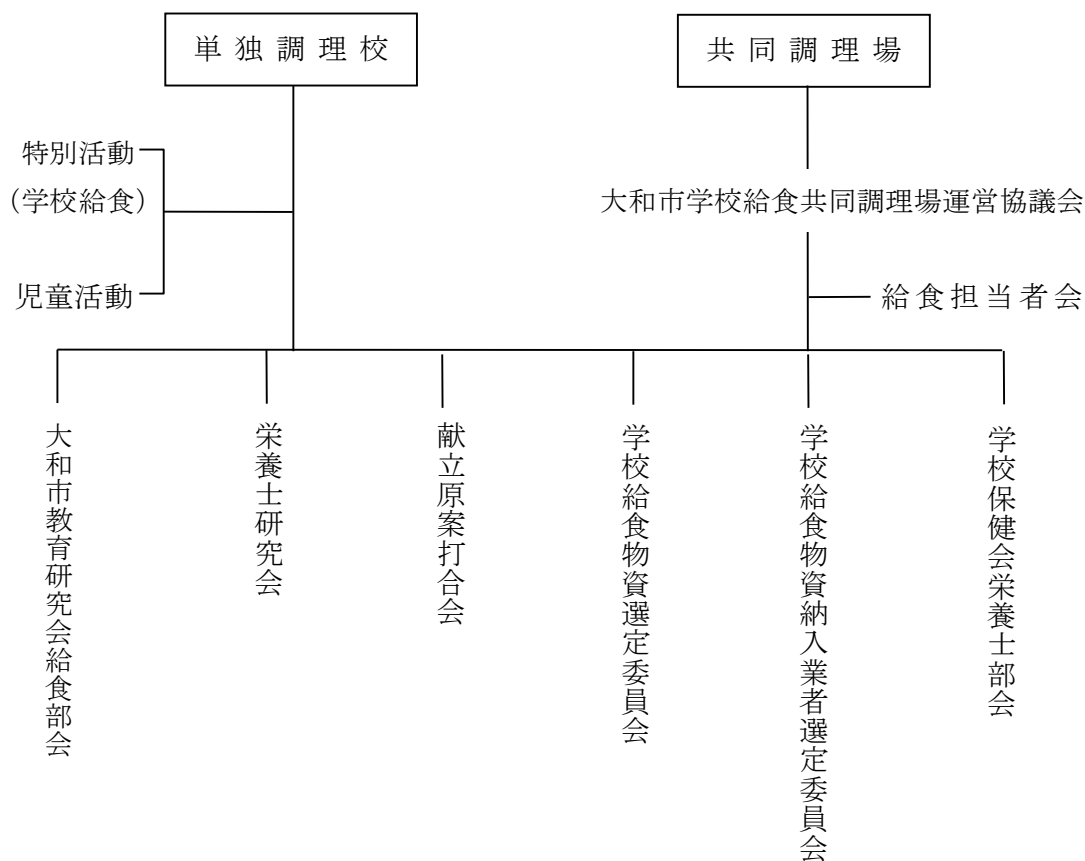
(5) 職員構成

令和4年5月1日現在

学校・調理場名	職種 場長	栄養教諭 又は栄養士	調理員	補助員	合計
北部調理場	1	2	※ 24	※ 21	48
中部調理場	1	2	※ 28	※ 22	53
南部調理場	1	2	※ 26	※ 28	57
北大和小	—	1	※ 5	※ 10	16
林間小	—	1	※ 6	※ 7	14
大和小	—	1	※ 6	※ 9	16
草柳小	—	1	5	4	10
深見小	—	1	5	4	10
桜丘小	—	1	※ 4	※ 7	12
渋谷小	—	1	※ 4	※ 5	10
西鶴間小	—	1	※ 4	※ 8	13
合計	3	14	117	125	259

- ※ (1) 調理場の調理員には、総務主任・業務主任・調理師・調理員・ボイラー作業員・配送員・庁務作業員を含み、委託業者です。
 (2) 調理場の補助員は、洗浄パート・受入校配膳員で委託業者です。
 (3) 北大和小・林間小・大和小・桜丘小・渋谷小・西鶴間小の調理員・補助員は、委託業者です。

(6) 学校給食運営組織図



(7) 食 数

〈单独調理校〉

〈調理場受入校〉

令和4年5月1日現在

学校名	食 数
北大和小	1,177
林間小	1,073
大和小	976
草柳小	443
深見小	582
桜丘小	523
渋谷小	675
西鶴間小	795
合 計	6,244

調理場名	食 数				受 入 校 名
北部調理場	小	2,073	計	3,971	中央林間小 大野原小 文ヶ岡小 大和中 つきみ野中 (計5校)
	中	1,898			
中部調理場	小	2,125	計	4,439	緑野小 柳橋小 南林間小 南林間中 光丘中 鶴間中 (計6校)
	中	2,314			
南部調理場	小	2,359	計	4,208	上和田小 福田小 下福田小 大和東小 引地台小 引地台中 渋谷中 上和田中 下福田中 (計9校)
	中	1,849			
合 計	小	6,557	計	12,618	(受入校全 20校)
	中	6,061			

(8) 学校給食優良校

学校給食優良校等は、国や県において給食の管理運営体制の充実、指導状況、衛生管理、地域との関連等給食全般について総合的な審査が行われ、優秀と認められた学校・調理場に対して表彰されるものです。

年 度	神奈川県表彰	文部大臣表彰
昭和 44	大 和 小	—
45	草 柳 小	—
54	緑 野 小	—
59	深 見 小	緑 野 小
平成 8	大 和 小	—
12	中部調理場	—
16	林 間 小	—
17	—	林 間 小
18	深 見 小	

12. 教育研究所

教育研究所は、教育の研究調査、教育活動の支援、教育情報の発信・提供、教育に関する図書・資料の収集及び貸出し、児童生徒の学習資料の刊行、教育関係職員・市民の教育研修、研究調査成果の発表及び紀要の出版、市域の教育史料の収集と刊行、教育の情報化の推進、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間の推進などの事業を行っています。

本市教育の実態を把握し、当面する教育課題の解決に資するとともに、知識基盤社会を担う子どもたちに必要な「生きる力」をはぐくむことを視野に入れ、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実、教育の情報化のための環境整備、理数教育充実のための環境整備など、教育研究所の果たすべき役割も増えています。

(1) 調査研究事業

教育に関する基礎的・専門的な分野及び学校教育の場における今日的教育課題について、調査研究を行います。その成果は刊行物、研修並びに教育研究所発表会などを通して本市の教育に反映させます。

① 最近5年間の調査研究

調査研究	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1. 情報教育	(プログラミング教育)	(情報モラル教育)		(端末活用)	
2. 教育課題	(教育課程)				
3. 教育意識		(家庭教育力と学校期待)			
4. 理科教育	(小学校3年生理科ハンドブック)	(小学校理科教育現状と課題)	(授業と評価)		(デジタル教材)
5. 地域教材			(中学校社会科副読本「大和」)		(「大和」指導資料集)

② 令和3年度に実施した調査研究

研究部会・研究期間	指導担当講師・研究員	研究内容
地域教材に関する調査研究部会 (令和2～3年度)	元市立中学校長 小川輝夫 中学校教員5人	地域のことを学ぶことができる中学校社会科副読本「大和」の改訂版を作成するため、地域素材についての調査研究を行います。
理科教育に関する調査研究部会 (令和2～3年度)	元市立小学校長 八木吉郎 小学校教員5人	新学習指導要領に即した理科教育の充実を図るため、市内小学校で行われている理科授業を通して、学習指導の工夫に関する研究を行います。
教育の情報化に関する調査研究部会 (令和3～4年度)	放送大学 客員教授 佐藤幸江 小学校教員3人 中学校教員2人	児童生徒1人1台の教育用端末機の活用実践から、課題について分析し、小中学校の教員のICT教育に関する各種技術向上のための研究を行います。

(2) 研修事業

今日の社会的状況及び校内の教職員の年代構成を踏まえ、“学びつづける教職員”の実現を目指し、人格的資質・課題解決力・授業力など、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実を図ります。

教職員の専門的資質・能力の向上を目指して、次の4つの柱からなる研修事業を行います。また、市民にも研修の機会を提供します。

- 専門領域の深化や視野の拡大を図る理論研修
- 指導技術の向上を目指す実技・実習研修
- 学校・家庭・地域における教育の今日的課題についての研修
- 教育の専門性や個性・特技を伸ばす研修

●令和3年度の研修事業（※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したもの）

① 人格的資質向上研修講座（年間2回）

豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【ホスピタリティ】 信頼感・安心感が生まれる人間関係づくり ～「ホスピタリティ」を学校で生かそう～	12月14日 (火)	ホスピタリティコーディネーター 朝岡 万吏江	15人
※ 2	【人権教育】 *市民公開 地域も学校も多文化共生 ～日本にいる難民のはなし～	8月3日 (火)	認定NPO法人 難民支援協会（JAR）	中止

② 課題解決力向上研修講座（年間4回）

子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図る講座です。

No.	研修内容	月日	講師	参加
※ 1	【学級経営】 子どもとの関わりが変わる ～「笑い」と「笑顔」があふれる学級づくり～	7月26日 (月)	こどもコンサルタント 原坂 一郎	中止
※ 2	【児童生徒指導】 関係性の児童・生徒指導 ～子どもの成長上の課題をふまえた今日的な児童・ 生徒指導の在り方～	8月4日 (水)	神奈川大学 人間科学部 人間科学科 教授 近藤 昭一	中止
※ 3	【健康・安全教育】 *市民公開 子どもの防犯力を高める安全教育 ～犯罪から子どもを守るには～	8月17日 (火)	NPO法人 日本子どもの安全教 育総合研究所 理事長 宮田 美恵子	中止
※ 4	【教育社会学】 社会の変化から見る「学校」や「教師」の役割	7月28日 (水)	東京大学大学院 教授 本田 由紀	中止

③ 授業力向上研修講座（年間4回）

教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
※ 1	【探究型授業】 調べたことから自分の考えをまとめる方法 ～演習を通して学ぶ、子どもへの指導方法～	8月2日 (月)	放送大学 客員准教授 塩谷 京子	中止
※ 2	【外国語】 小・中・高のつながりを踏まえた「外国語・英語教育」 ～これからの指導と評価のポイント～	8月19日 (木)	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 山田 誠志	中止
3	【端末を活用した授業：中学校社会科】 提案授業及び講師による講義（オンライン開催）	10月14日 (木)	放送大学 客員教授 佐藤 幸江	41人
4	【端末を活用した授業：小学校外国語】 提案授業及び講師による講義（オンライン開催）	11月16日 (火)	放送大学 客員教授 佐藤 幸江	44人

④ 特別講座（年間1回）

社会福祉施設等での体験を通して、幅広い視野からものの見方を体得し、社会人・教育公務員としての自覚の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	参加
1	【社会体験研修】 ■事前打合せ1回 ■体験研修（実習2日間） 大和市立図書館 渋谷図書館 中央林間図書館	5月24日（月） 12月27日（月）～28日（火） 1月6日（木）～7日（金）のうち2日間	9人

⑤ 教育講演会（年間1回） *市民公開

教職員・保護者・市民が教育について学び、地域・家庭との連携を深めました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	大人も子どもも知っておきたい！ネット社会の上手な歩き方（オンライン開催）	11月12日（金）	聖心女子大学 非常勤講師 榎本 竜二	14人

⑥ 発表会（年間2回） *市民公開

調査研究及び実践力向上研修の概要を発表し、その成果を本市教育に反映する目的で実施します。

No.	研修内容	月日	参加
※ 1	【教育研究所研究発表会】 調査研究の発表 ■教育の情報化(教育の情報化に関する調査研究部会) ■教育意識(教育意識に関する調査研究部会)	8月20日（金）	中止
※ 2	【実践力向上研修部会発表会】 実践力向上研修の成果の発表 ■学力向上に関する発表（学力向上部会） ■特別支援教育に関する発表（特別支援教育部会） ■不登校に関する発表（不登校部会） ■子どもたちの人間関係、集団づくりに関する発表（今日的教育課題部会）	8月20日（金）	中止

⑦ 理科教育研修講座（年間2回+訪問研修）

環境教育や理科教育の考え方・指導法を研修するとともに、指導力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【小学校理科観察・実験】 小学校理科の観察・実験の基礎 (机上研修・課題提出あり)	7月5日(月) ～ 8月25日(水)	理科教育担当指導主事	33人
※ 2	【理科実地研修】 江ノ島の自然観察	8月6日（金）	菊池 久登	中止
3	【理科訪問研修】 ・観察・実験器具の取り扱いの基礎 ・興味関心を高めるための教材づくり ・理科備品の整理についてなど	5月～ 3月	理科教育担当指導主事	計9回 実施

⑧ 情報教育研修講座（年間3回＋訪問研修）

教育の情報化に関する知識や技能を学び、校務や授業に活用する力の向上を図りました。

No.	研修内容	月日	講師	参加
1	【1人1台端末活用】（中学校） ロイロノート・スクールの活用（オンライン開催）	12月20日 （月）	インストラクター	17人
2	【1人1台端末活用】（小学校） ロイロノート・スクールの活用（オンライン開催）	12月21日 （火）	インストラクター	32人
3	【情報セキュリティ】 校内における情報セキュリティ対策について （書面開催）	12月27日 （月）	インストラクター	31人
4	【訪問研修】 1人1台端末の活用について 等	7月～ 2月	情報教育担当指導主事 インストラクター	13校

⑨ 実践力向上研修

課題意識を持ち、課題解決のために活動することを通して実践力の向上を図りました。

No.	部会	月日	事務局	参加
1	今日的教育課題部会 学力向上部会 特別支援教育部会 不登校部会	1年間	教育研究所 指導室 指導室(特別支援教育センターアンダンテ) 青少年相談室	26人

(3) 教育の情報化に関する事業

小中学校における情報教育については、情報モラルをベースとした、情報を適切に活用できる「情報活用能力の育成」がより求められるようになりました。このことから、次のように基本方針を定め推進しました。

○小中学校の体系的な情報教育の推進に努めます。

教科等における学習目標の達成を目指す中で、児童生徒に「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、情報モラルなどの「情報社会に参画する態度」が育成されるよう、体系的な情報教育の推進に努めます。

○将来にわたって生かせる情報活用能力の基礎を育成します。

様々な情報や情報手段に慣れ親しみながら、主体的に情報を判断・活用し、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた児童生徒の育成に努めます。

●令和3年度の事業

① 教育の情報化プロジェクト委員会

本市における情報教育に関する基本方針や方向性を検討します。諮問機関としての性格を有し、委員の任期は1年間です。

構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校長会代表 ・ 中学校長会代表 ・ 情報教育推進校代表 ・ 情報教育調査研究部会代表 ・ ネットワークリーダー代表 ・ 教育委員会代表
実施	4回／年 <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼状交付式 ・ 協議及び報告（GIGAスクール構想について） 等

② 校務支援システム推進委員会

校務支援システムをより円滑に運用していくために、運用に関する種々の問題の共有を推進するとともに、その解決を図りました。

構成	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校長会代表 ・中学校長会代表 ・小学校教頭会代表 ・中学校教頭会代表 ・小学校教務担当代表 ・中学校教務担当代表 ・養護教諭代表 ・中学校進路担当代表 ・特別支援学級担当代表 ・事務主事・主査代表 ・教育委員会代表
実施	8回/年 令和3年度システム更新に伴う機能追加（文書連絡機能、保健管理機能、学校日誌機能）について等

③ ネットワークリーダー会議

市内各学校での情報教育の推進について考え、情報交換、要望の集約、連絡・調整、研修を行いました。各学校代表と教育委員会代表で構成します。

実施	3回/年	連絡：担当者の役割、導入機器、GIGAスクール構想について 児童生徒1人1台端末(Chromebook)の運用、管理について 研修：Chromebookの効果的な活用について ロイロノート・スクールの効果的な活用について 等
----	------	---

④ 教育の情報化推進校

教育の情報化の実践的研究を推進し、その成果を本市の教育に反映しています。

(委託期間2年間)

【研究内容】○情報教育（子どもたちの情報活用能力の育成）に関すること。

○教科指導における情報通信技術の活用（情報通信技術を効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実践等）に関すること。

○校務の情報化（教職員が情報通信技術を活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、校務の負担軽減等）に関すること。

令和3・4年度	引地台中学校
研究テーマ	「主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して～」

⑤ 情報モラル教育支援事業

平成26年度より業者委託による事業を開始しました。各小中学校の実態を調査し、結果に合わせた指導方法の提示や対応を行います。

【支援内容】○教職員研修会開催

○保護者講習会開催

○授業支援

○ネットトラブル対応（直接対応・電話対応）

⑥ コンピュータ機器整備

情報教育の目的達成に寄与すべく、学習指導の改善・充実を目指して、小中学校に教育用コンピュータを設置し、情報教育を推進しています。

【コンピュータ設置状況】

	小学校	中学校
平成28年度	◆380台（リース H28.9.1～） 各校電子黒板用PC 366台 各校校務用PC 8台 教育委員会用 5台 市立病院院内学級PC 1台	◆354台（リース H28.9.1～） 各校校務用PC 343台 青少年相談室職員用PC 2台 中学校職員系サーバ 9台

平成29年度	◆19台 (リース H29.9.1～) 小学校職員系サーバ 19台 8台 (電子黒板用PC) 8台 1台 (国際交流用PC) 1台	
平成30年度	◆286台 (リース H30.9.1～) 各校校務用PC 265台 電子黒板用PC 15台 教育委員会用PC 4台 理科センター用 2台	◆18台 (リース H30.9.1～) 電子黒板用PC
令和元年度	◆988台 (リース R1.9.1～R6.8.31) PC教室用タブレット 44台×19校 836台 大規模校用タブレット 132台 44台×3校 北大和、林間、大和 PC教室管理用 19台 教育委員会用タブレット 1台 ◆148台 (リース R1.10.1～R6.9.30) 特別支援学級用タブレット(iPad) 148台 ◆42台 (リース H27.3.1～H32.2.29) 国際教室用タブレット 3台×14校 42台	◆188台 (リース R1.9.1～R6.8.31) 教室用タブレット 44台×3校 132台 普通教室プロジェクタ用PC 56台 ◆65台 (リース R1.10.1～R6.9.30) 特別支援学級用タブレット(iPad) 54台 特別支援センター用タブレット(iPad) 10台 教育委員会用タブレット(iPad) 1台 ◆295台 (リース R2.3.1～R7.2.28) 教室用タブレット 44台×6校 264台 国際教室用タブレット 3台×7校 21台 大和市立病院院内学級用タブレット 4台 教育支援教室用タブレット 6台
令和2年度	◆14台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 各校校務用PC 14台 ◆484台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 各校校務用PC 484台 ◆6台 (リース R2.9.1～R7.8.31) ことばの教室用タブレット (iPad) 6台 ◆12,784台 (買取 R2.10～) 各校教育用端末機(Chromebook) 12,784台	◆13台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 各校校務用PC 11台 特別支援センター用PC 2台 ◆5台 (リース R2.4.1～R7.3.31) 普通教室プロジェクタ用PC 5台 ◆55台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 普通教室プロジェクタ用PC 55台 ◆67台 (リース R2.9.1～R7.8.31) 各校校務用PC 58台 院内学級用PC 1台 特別支援センター用PC 8台 ◆5,876台 (買取 R2.10～) 各校教育用端末機(Chromebook) 5,799台 院内学級用教育用端末機 3台 教育支援教室用教育用端末機 11台 特別支援センター用教育用端末機 13台 教育委員会用教育用端末機 50台 ◆52台 (リース R2.12.1～R7.11.30) 普通教室プロジェクタ用PC 52台
令和3年度	◆170台 (買取 R4.3～) 各校教育用端末機(Chromebook) 170台	◆3台 (リース R3.9.1～R8.8.31) 普通教室プロジェクタ用PC 3台 ◆78台 (買取 R4.3～) 各校教育用端末機(Chromebook) 78台
現在設置保守台数22,902台 (サーバ台数含む) 令和4年3月31日現在		

⑦ プログラミング教育支援

小中学校におけるプログラミング教育について、児童生徒がプログラミングに触れることのできる環境の整備を行うとともに、児童生徒がプログラミングに触れる機会を設定します。

【放課後寺子屋プログラミング教室 (実施会場 全市立小中学校 PC教室 等)】

開催時間	対象・人数	内容
授業終了後～16:45 (冬季は16:15)	小学校1～6年生 定員20人	PCの基本的な操作方法を学ぶ。 Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ(2～6年生)。
授業終了後～16:50	中学校1～3年生 定員20人	タイピング。 Scratchを用いて、基本的なプログラミングの手法を学ぶ。 Studuinoを用いて、ロボットを利用した発展的なプログラミングを学ぶ。

各校(小学校19校、中学校9校)において年間平均13回の実施

(4) 理科・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業

「生きる力」の育成を目指した授業を支援するために、理科教育・環境教育・総合的な学習の時間に関する事業の推進を図ります。調査研究・研修講座の充実を図るとともに、授業支援を行っています。

① 理科教育機器の整備・貸出し

学習指導要領に対応し、理科備品の整備拡充を図り、理科教育の充実のために機器の貸出しを行っています。

【令和3年度の理科教育機器の貸出し】

内 容
送風機(11) 骨格模型(1) 演示用てこ(1) 光学顕微鏡(6) 双眼実体顕微鏡(1) ガラス棒(1) スライドガラス(6) シャーレ(2) 丸型水槽(2) ビーカー(1) 三角架(1) プログラミング教材(66)

② 理科教育の相談・支援

観察・実験上での指導に関すること、教材研究や教材提供、理科におけるレファレンスサービスを行っています。

【令和3年度の相談・支援】

相談項目	主な相談内容	件数
教材提供	・生物教材提供(微小生物6種)	17件
教材研究	・微小生物の採集方法と観察方法について ・感染防止に配慮した、唾液を用いないデンプンの糖化実験方法 ・プログラミング教材の活用について ・昆虫標本の購入に関する選定基準について ・LEDと白熱電球の違いについて	6件
教育相談	・理科室の整備について ・廃液処理の方法について	3件

③ 環境教育の相談・支援

環境教育推進のための機器の貸出し、教材研究や教材作成の相談を受け付けます。

④ 薬品廃液処理

理科学習時の廃液等を回収し、適切に処理しています。

【令和3年度の薬品廃液処理】

産業廃棄物の種類	数量(kg)	処理方法	備考
特別管理廃酸（有害以外の金属含有）	15.500	中和	
特別管理廃酸（廃試薬、有害以外の金属含有）	3.400	中和	
特別管理廃酸（廃試薬）	4.880	中和	
特別管理廃酸	5.000	中和	
特別管理廃アルカリ（廃試薬）	1.700	中和	
特別管理廃アルカリ	7.780	中和	
特別管理汚泥有害クロム（廃試薬）	1.150	溶解・還元・中和・ろ過	
特別管理引火性廃油（廃試薬）	1.625	焼却	
特別管理廃油有害ベンゼン（廃試薬）	0.100	焼却	
廃酸（廃試薬）	0.050	焼却	
廃酸	9.900	焼却	
廃アルカリ（廃試薬）	1.300	焼却	
汚泥（廃試薬）	14.735	焼却	
廃油（廃試薬）	4.951	焼却	
汚泥（特別管理産業廃棄物）	0.200	焙焼	

⑤ 「子ども科学教室」の開催

児童生徒の科学的な考え方や創造力の育成を目的に行っています。

【令和3年度の子ども科学教室（※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したもの）】

回	テーマ	月日	会場	講師	参加
※ 1	回転する力	7月29日(木)	理科センター (柳橋小学校西棟)	教育研究所指導主事	中止
※ 2	ホバークラフト	9月5日(日)	理科センター (柳橋小学校西棟)	科学探検隊	中止
※ 3	ラジオをつくろう	10月9日(土)	理科センター (柳橋小学校西棟)	神奈川県電波適正 利用推進員協議会	中止
4	かながわりレー科学教室	10月30日(土)	桜丘学習センター 3階集会室	県立青少年センター 職員	18人

プチロボの製作・競技を行い、科学技術発展の裾野を広げます。（県立青少年センターと共催）

	テーマ	月日	会場	講師	参加
1	プチロボで競走しよう (大和大会)	10月31日(日)	生涯学習センター 603・610講習室	県立青少年センター 職員	24人

⑥ 「夏のおもしろ科学館2021」の開催（中止）

内容 観察実験・ものづくりブースの出展

日時 8月7日(土) 会場 文化創造拠点シリウス 6階 生涯学習センター
3階 マルチスペース
1階 ギャラリー

⑦ 「冬のおもしろ科学館 2021」の開催

内 容 観察実験・ものづくりブースの出展

日 時 12月18日(土) 会 場 文化創造拠点シリウス 3階 マルチスペース
1階 ギャラリー
参加者数 123人

⑧ 総合的な学習の時間等の情報提供

総合的な学習の時間の支援のため、教材研究や教材作成の相談の受付や、各学校における授業実践等への情報提供を行っています。

(5) 教育資料に関する事業

児童生徒の学習効果の向上や学校や教職員等の教育研究、教育実践に資するために、教育資料を刊行するとともに、教育情報誌及び教育研究資料を収集・整理し、教職員に閲覧・貸出しを行っています。

① 教育資料の刊行

【令和3年度の刊行物】

	刊 行 物	対 象	発行部数
1	教育研究所要覧	小中学校教職員・関係機関	450
2	ビジュアル版 大和の教育	小中学校教職員・関係機関・市民	71,500
3	まなびやまと(Web版)	小中学校教職員・関係機関・市民	Web掲載
4	こども版 まなびやまと	小中学校児童生徒・教職員・関係機関	19,500
5	所報(2回)	小中学校教職員・関係機関	1,550
6	研究所だより(6回)	小中学校教職員	1,500
7	小学校社会科副読本「やまと」	小学校3年生	2,200
8	中学校社会科副読本「大和」	中学校1年生	2,300
9	小学校理科副読本「大和の自然」	小学校3年生	2,200
10	研究紀要76集 理科教育に関する調査研究 部会研究紀要	小中学校教職員・関係機関	420

【令和3年度発行の教育情報誌の内容】

情報紙	発行日	内 容
研究所だより 第128号	6月	「Chromebookで楽しく学ぼう」 ・オススメコンテンツ「学BOX」
研究所だより 第129号	6月	「ICT活用の最新情報を入手しよう 1」 ・研修で学ぼう
研究所だより 第130号	6月	「Chromebookで楽しく学ぼう 2」 ・オススメコンテンツ「eライブラリ」(新バージョン)

令和3年度 ビジュアル版 「大和の教育」	6月15日	<p>巻頭言「読書の力」(教育長)</p> <p>「子どもたちが安心できる環境整備に努めます。」(指導室)</p> <p>「増築棟の建設や大規模改修工事を行うとともに、子どもたちの安全を確保するための施設整備を進めます。」(教育総務課)</p> <p>「市立全小中学校で児童生徒の放課後事業の充実を図ります。」(指導室)</p> <p>「ICT機器を活用し、学びの可能性を広げます。」(教育研究所)</p> <p>「充実した支援体制を整え、相談活動の推進に努めます。」(青少年相談室)</p> <p>「フォーラム・イベントにご参加ください」</p> <p>「お知らせします」</p>
研究所だより 第131号	7月	<p>「Chromebookを日常の中に」</p> <p>「教員に身につけてほしい15のスキル チェック表(改訂版)」</p>
研究所だより 第132号	7月	<p>「ICT活用の最新情報を入手しよう 2」</p> <p>・Webサイトを活用しよう</p>
所報 第131号	7月15日	<p>特別寄稿</p> <p>「『子どものこころを育てる』～学校・家庭・地域の協働の中で～」 (横浜国立大学 教授 宮戸 美樹)</p> <p>「平成31～令和2年度 教育の情報化に関する調査研究部会成果」</p> <p>「平成31～令和2年度 教育意識に関する調査研究部会成果」</p> <p>「令和3年度調査研究部会紹介」</p> <p>「2年目をむかえて」(令和3年度2年次教職員)</p> <p>「『Society5.0時代』の到来、『I活通信』より」</p>
こども版 まなびやまと No.6	10月	<p>「いろいろな使い方があるんだね Chromebook」 (福田小学校、大和東小学校、渋谷小学校、渋谷中学校)</p> <p>特集「チャレンジ! 自主学習」(林間小学校、引地台中学校)</p> <p>「みんなで学ぼう!! 交通安全教室」(渋谷中学校、草柳小学校)</p> <p>「みんなで考えてみよう 感染症対策の『いま』と『むかし』」</p> <p>おらが学校「子どもの笑顔があふれる学校をめざして」(南林間小学校)</p> <p>「学校マスコットキャラクター」 (深見小学校、南林間中学校、大和東小学校、光丘中学校)</p>
研究所だより 第133号	12月	<p>「研究・研修成果の発表ページができました」</p>
まなびやまと No.35	3月	<p>「市立小中学校で活用が進む1人1台端末 ～広がる活用の場面～」 (大野原小学校、引地台中学校)</p> <p>「わたしたちの大和市を知ろう ～大木市長にオンラインインタビュー～」 (渋谷小学校)</p> <p>「障がい者福祉を学ぶ ～車いすバスケット教室を通して～」 (大和東小学校)</p> <p>「おらが学校 ～未来の担い手を育む～」(桜丘小学校)</p> <p>「歴史を風化させない ～戦争体験伝承者から学ぶ～」(下福田中学校)</p>
所報 第132号	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「回想」(柳橋小学校 校長 久津間 仁) ・特別寄稿「全ての出会いに感謝」(渋谷中学校 校長 神田 義和) ・大和市教育の情報化推進校の実践 「主体的に活動し、ちからを高め合う生徒の育成 ～ICT 機器の効果的活用を通して～」(引地台中学校) ・研修講座を振り返って(教育研究所) ・情報モラル教育を進めるためのポイント(教育研究所)

② 教育図書・資料の閲覧と貸出し

教育専門書のほか市内小中学校発行の研究集録をはじめ、他市・県等の教育情報を収集整理し、閲覧と貸出しを行っています。

【図書・教育資料の数】（令和3年度末）

	登録数(冊)	前年度比
教育用図書	4,006	+ 0
教育資料・雑誌	4,613	+103
教科書類	5,269	+ 0
計	13,888	+103

【貸出し数】（令和3年度末）

	冊数
教育用図書	13冊
教育資料・雑誌	62冊
教科書類	0冊
計	75冊

③ 教育史料の収集と整理

『新版神奈川大和教育史第一巻・第二巻』発刊後、引き続き、平成元年から現在までの大和市における教育史料の収集・整理を行い、教育史第三巻（通史平成版）の発刊に向けて、史料の収集と体系化を継続します。

収集史料	学校関係、教育委員会関係、単位PTA関係、教育諸団体関係（教育研究会、学校保健会、PTA連絡協議会、校長会、教頭会、学校事務研究協議会、中学校体育連盟等）の組織・事業等
------	--

【令和3年度の教育史料の収集】

分類	収集冊数	分類	収集冊数
行政機関	59冊	教科書関係	0冊
学校関係	41冊	教育諸団体関係	3冊

13. 青少年相談室

(1) 青少年相談員の活動

青少年相談員は、青少年指導員・少年補導員・保護司・民生委員児童委員・中学校PTA役員・中学校教職員及び民間有志者など教育委員会が依頼した40人で構成され、青少年の健全育成活動を行っています。

令和3年度の主な活動は、以下のとおりです。

月日	内 容	場 所	出 席 者
通年	地区別街頭補導・卒業式特別補導 ○非行の行われやすい場所を重点的に巡回し、問題行動の早期発見と適切な助言指導を与えるために実施 ○「大和阿波おどり」や地域の祭礼等にあわせた補導は中止 ○市内公立中学校の卒業式にあわせ補導を実施 ○計99回実施	市内全域	延615人
5月	「大和市民まつり」における啓発活動・特別補導（中止） ○例年「大和市民まつり」に青少年相談員連絡協議会として出店し、「ケータイ」「スマホ」でのトラブルはルールやマナーを守ることによって防げることを広く市民にアピールするために実施 ○会場を中心に特別補導を実施		
7月 9月 11月	有害看板等撤去活動（中止） 青少年に有害な立て看板・貼り紙等の撤去活動を関係機関・関係団体の協力を得て実施 ○環境浄化活動 ○屋外広告物適正化キャンペーン ○青少年健全育成推進キャンペーン	市内全域	
6月	依頼状交付式・青少年相談員連絡協議会総会（書面開催） ○令和2年度事業報告及び決算報告、監査報告 ○令和3年度事業計画（案）及び予算（案） ○その他		40人
7月	社会環境健全化推進街頭キャンペーン（中止） ○青少年を取り巻く社会環境の健全化への取り組みについて、市民の理解・協力を喚起するために参加 ○啓発資料の配布		
6月 11月	青少年相談員全体研修会（6月書面開催、11月中止） ○青少年街頭指導員による「効果的な街頭補導について」		40人
12月	青少年相談員視察研修会（中止） ○青少年の補導活動に携わるうえで、より高い見識を持ち、効果的な指導を行うため、視察研修を実施		
10月 11月	市内公立中学校との情報交換会 ○各中学校の現状や学区内の状況などについて意見交換するために実施	各中学校	延71人
9月 2月 (10月)	青少年相談員連絡協議会活動だより「そよかぜ」（通常号は中止 特別号を10月に発行） ○例年、青少年相談員の活動や青少年を取り巻く諸問題について、関係機関及び市民へ周知・啓発を図るために発行 ○今年度は「そよかぜ」特別号を発行し、自治会掲示板への掲示と青少年相談室ホームページへの掲載を行った。		

(2) 街頭補導の実施状況（令和3年度）

街頭補導実施回数 312回

従事者数 延べ986人

	合計	対象少年学校・職業別									措置別					
		未 学 就	児童・生徒・学生					有 職 少 年	無 職 少 年	・ そ の 他	セ ン タ ー 処 理	児 相 通 告	福 祉 通 告	警 察 ・ 保 護 セ ン タ ー 引 継 ぎ	医 療 機 関 ・ 保 健 所 引 継 ぎ	そ の 他
			小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	小 計									
怠学・怠業																
金品持出・金銭濫費																
不健全性的行為																
飲酒・喫煙	10 (2)			9 (2)		9 (2)		1		4			6 (2)			
不良交友																
遊技場出入																
不健全娯楽																
深夜はいかい																
刃物等所持																
粗暴行為																
金品不正要求																
家出・浮浪・無断外泊																
シンナー・薬物等乱用																
性的いたづら																
暴走行為等交通違反	224 (70)	13 (1)	12 (2)	194 (66)	3 (1)	222 (70)		2		224 (70)						
その他	18 (6)	12 (4)	4	2 (2)		18 (6)				18 (6)						
小計	252 (78)	25 (5)	16 (2)	205 (70)	3 (1)	249 (78)		3		246 (76)			6 (2)			
非行少年等																
犯罪少年																
触法少年																
ぐ犯少年																
要保護少年																
小計																
合計	252 (78)	25 (5)	16 (2)	205 (70)	3 (1)	249 (78)		3		246 (76)			6 (2)			

()内の数字は女子で内数

(3) 青少年相談室の活動

青少年や保護者等から電話・来室・メールなどの相談により、課題解消に向けた支援を行っています。市立小学校に教育相談員を派遣し、各学校での相談に対応しています。青少年相談室では青少年心理カウンセラーとスクールソーシャルワーカーが、相談に対応するとともに、学校や他機関との連携も図っています。また、青少年の健全育成のために街頭補導活動、有害看板撤去等の社会環境浄化活動も行っています。

不登校生徒支援を充実させるために、教育支援教室を開設するとともに、市立小学校 10 校、中学校 9 校に不登校児童生徒支援員を派遣しています。なお、令和 3 年度の主な活動は、以下のとおりです。

また、令和 3 年度の活動のうち（中止）や（書面開催）となっているものについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施や開催を中止または書面開催としたものです。

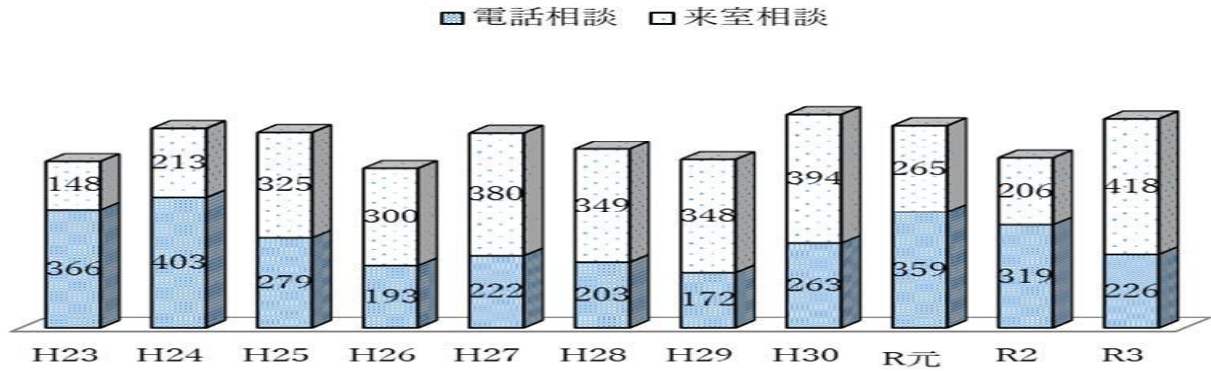
月 日	主 な 活 動
5 月～ 8 月	小・中学校での研修会へ講師派遣（中止） ○児童・生徒への対応や不登校など、諸課題に対しての教育相談活動の進め方など 講師：教育相談アドバイザー 小見祐子 氏
6 月 11 月 1 月	教育相談担当者研修会 2 回実施（1 月 中止） ○児童・生徒支援について研修を深め、ケースワークや情報交換などを通して、教育相談業務の充実を図る。 講師：①神奈川県大和綾瀬地域児童相談所 開鳴 智明 氏・風間 晶子 氏 ②神奈川県大和綾瀬地域児童相談所 矢後 芳明 氏 大和市すくすく子育て課 職員
7 月～ 8 月	青少年相談室夏季研修講座 3 回実施（書面開催） ①「子どもの行動とその心理的背景について」 講師：大和市青少年相談室 臨床心理士 足立 亜利沙 氏 ②「外部機関との連携について」 講師：大和市青少年相談室 スクールソーシャルワーカー 坂本 京子 氏 ③「不登校対応についてケースワーク」 講師：大和市青少年相談室 まほろば教室専任 柴崎 寛 氏
7 月	青少年健全育成講演会（中止） ○青少年健全育成への理解の推進と市民への啓発を目的に開催
7 月～ 8 月	社会環境実態調査（中止） ○インターネットカフェ、古書店、複合店、まんが喫茶、ゲーム取扱店等の状況を調査（令和元年度 17 店）
6 月～ 3 月	医療相談員（医師）による個別相談 5 回実施 ○医療のアプローチが必要だと感じている保護者、教職員に対して、個別相談を実施 医療相談員：鈴木 泰代 氏
7 月～ 1 月	登校を考える保護者会 3 回実施（9 月 中止） ○不登校児童生徒の保護者とともに、相互支援を図るために開催 講師：教育相談アドバイザー 小見祐子 氏
4 月～ 10 月	不登校児童生徒支援員研修会 2 回実施 ○不登校児童・生徒支援について研修を深め、情報交換などを通して不登校支援業務の充実を図る 講師：教育相談アドバイザー 小見祐子 氏
4 月	児童・生徒支援 研修会 4 回実施 ○中学校区を単位とした児童支援中核教諭・小中教育相談コーディネーター担当教諭による相互支援、教育相談アドバイザーの助言による、教育相談等、児童・生徒支援活動の充実 講師：青少年相談室 指導主事
3 月	中学校教育相談コーディネーターと青少年相談室相談員の情報交換会 3 回実施 ○次年度、中学校就学生徒についての情報交換 講師：教育相談アドバイザー 小見祐子 氏

(4) 青少年相談室の相談受理状況(電話相談・来室相談)

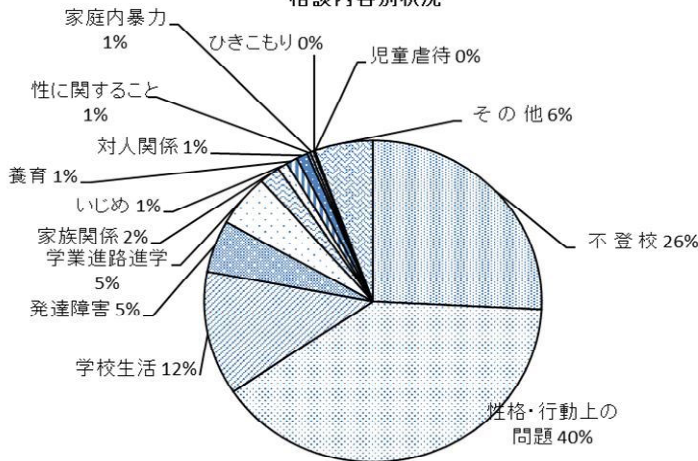
青少年自身の悩み、青少年が起こす問題行動に悩む保護者などからの相談を受け、その課題解消を支援します。

令和3年度の相談件数は、電話相談 226 件、来室相談 418 件、合計 644 件で、相談内容等は次のグラフのとおりです

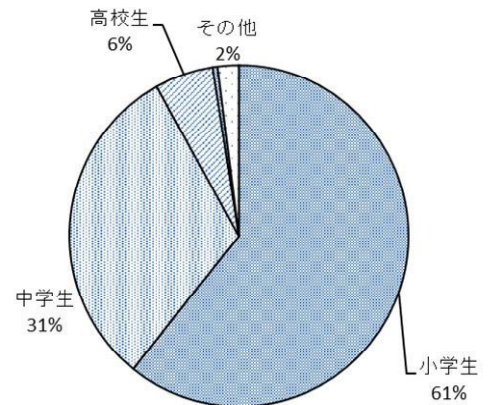
相談件数の推移(H23~R3)



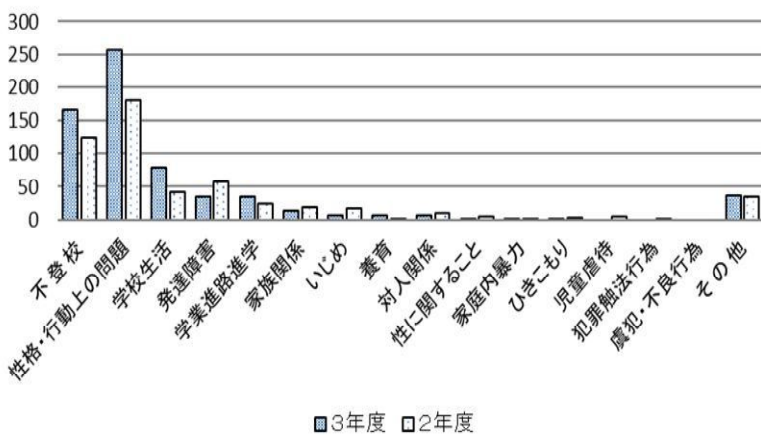
相談内容別状況



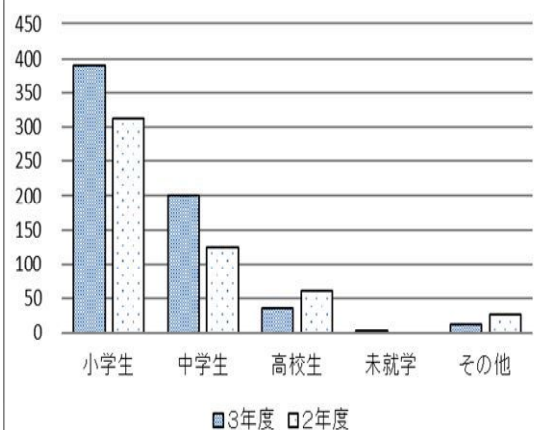
学校・職業別状況



相談内容別の前年比



学校・職業別の前年比



(5) 県費スクールカウンセラーの派遣と不登校児童生徒支援員の配置

① 県費スクールカウンセラーの派遣（各中学校に派遣）

学校における教育相談体制の充実を図るため、県からスクールカウンセラーが各中学校に派遣されています。スクールカウンセラーは、生徒や保護者への教育相談やカウンセリング、教職員へのコンサルテーション、外部機関と連携協力、特別支援教育のコーディネートなど、生徒が有意義な学校生活を過ごせるよう支援しています。

令和3年度の相談内容や相談者は次の通りです。

相 談 内 容			相 談 者		
① 不登校	1,091 件	33.62%	① 中学1年	209 人	6.44%
② いじめ	21 件	0.65%	② 中学2年	305 人	9.40%
③ 暴力	1 件	0.03%	③ 中学3年	362 人	11.16%
④ 虐待	13 件	0.40%	④ 教職員	1542 人	47.52%
⑤ 友人・異性関係	163 件	5.02%	⑤ 保護者	827 人	25.49%
⑥ 貧困	0 件	0%			
⑦ 非行	0 件	0%			
⑧ 家庭環境	317 件	9.77%			
⑨ 教職員との関係	38 件	1.17%			
⑩ 心身の健康・保険	983 件	30.29%			
⑪ 学業・進路	182 件	5.61%			
⑫ 発達	232 件	7.15%			
⑬ コロナウイルスに起因する相談	0 件	0%			
⑭ その他	204 件	6.27%			
合 計 3,245 件 (1 校平均 360.6 件)					

② 不登校児童生徒支援員の配置

不登校対策として、市立中学校に不登校生徒支援員を1名ずつ配置しており、平成30年度より市立小学校10校に不登校児童支援員を配置しています。不登校児童生徒支援員は、学校生活で配慮が必要な児童・生徒への学習支援や教育相談、家庭訪問などの支援を行っています。

(6) 教育支援教室「まほろば教室」

不登校児童生徒を対象に、相談活動、学習支援、人間関係づくりへの支援などを組織的・計画的に実施し、児童生徒の「生きる力」の伸長を目指し、在籍校の復帰も視野に入れて「まほろば教室」を設置しています。

① 月別通室状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	15	19	22	21	4	20	24	27	30	32	32	33

○通室人数 43人 (延べ人数)

○通室児童生徒の学年内訳

小学校

3年 男子 1人 女子 0人
 5年 男子 4人 女子 3人
 6年 男子 1人 女子 1人

中学校

1年 男子 4人 女子 9人
 2年 男子 7人 女子 4人
 3年 男子 4人 女子 5人

○通室児童生徒の卒業や復学状況

学校復帰(部分登校を含む)…………… 40人 → 学校復帰1人 部分登校39人
 登校しないまま卒業…………… 0人
 登校しないまま進級…………… 2人
 転出…………… 1人

保護者会・授業参観

	月日	内 容
1	5～2月	まほろば保護者会5回(延20人参加)【5/14 7/16 10/29 12/23 2/25】
2	中止	おたのしみ会 例年2回(8・12月) ※新型コロナウイルス感染防止のため中止
3	中止	卒業生のお話を聴く会 例年1回(8月) ※新型コロナウイルス感染防止のため中止
4	中止	百人一首大会 例年1回(1月) ※新型コロナウイルス感染防止のため保護者参観なしで実施
5	3月10日	旅立ちの会(2人参加)
6	3月	保護者面談6回(6人参加)

② 通室児童生徒の担任と相談室との情報交換

	月日	内 容	参加者数
1	7月	7月までの情報交換と9月からの方向性について協議	9人
2	12～1月	1、2年生：学校復帰に向けた情報交換 3年生：進学、卒業に向けた情報交換	17人
3	3月	進級時期を迎えるにあたっての情報交換	9人